Let Language Be Your Wings To The World

～言葉を究めて世界へはばたく～

大阪大学

外国語学部

OSAKA UNIVERSITY School of Foreign Studies

2020

言葉を究めて 世界へはばたく

外国語学部長あいさつ

外国語学部のルーツは、「大阪に国際人を育てる学校を」と思い描いた大阪の実業家林竹三郎の遺志を受け、その妻林蝶子女史による寄付を資金に1921年に大阪市内の上本町八丁目に創設された官立の大阪外國語学校に遡ります。同校は当初、学年定員200名、専攻言語は9言語という規模でしたが、その後、大阪外事専門学校（1944年改称）を経て国立大阪外国語大学（1949年）へと発展を遂げ、さらに1979年に上本町から箕面市粟生間谷へと移転して組織を拡充し、2007年10月に大阪大学と統合して現在の大阪大学外国語学部の姿になりました。現在は学年定員580名、専攻数は25言語を数え、大阪大学の文系学部で最大規模を誇っています。また、外国語学部を有する唯一の国立大学法人として大阪大学を特徴付けています。

昨今、大学世界においても「グローバル人材の育成」という表現が取り上げられる機会が多くなっています。本学部は、冒頭でも述べましたように、創設当初からそれを目的としてきました。もっとも、グローバル人材という表現は、世間一般では国際的なビジネスシーンに通用する言語運用能力を身につけている人材として理解されることが多いかと思いますが、本学部が育成を目指すグローバル人材とは、高度な言語運用能力を習得するだけの表層に限定することなく、専攻語地域のジェネラリストとして、外国の言語とその背景にある文化を理解する力を身につけ、多種多様なシーンにおいてそれを活用できる人材、換言すれば、深層の異文化理解力を有する人材にほかなりません。

外国語学部は2021年に創設100周年を迎えます。大学に求められるグローバル人材の育成は、外国語学部にとって大阪外國語学校の創設以来のミッションであり、大阪外国語大学時代に蓄積された経験と実績は、大阪大学全体におけるグローバル人材の育成にも十分に活用できるものと信じ、大阪大学におけるグローバル人材育成の範たる学部でありたいと思います。

大阪大学 外国語学部長　**大　内　　一**

外国語学部とは

本学部の教育は、一般的な町中の語学学校のそれとどう違うのでしょうか？教授される言語の多様性や水準の差だけなのでしょうか？この疑問に対する答えは、本学部規程の第1章総則に、「・・・外国の言語及びそれを基底とする文化一般について理論及び実際にわたって教授研究し、国際的な活動をするために必要な広い知識及び高い教養を与え、言語を通じて外国に関する深い理解を有する有為な人材を養成すること・・・」と明確に記されています。つまり、教授される言語を単にコミュニケーションのためのツールとして学ぶだけではなく、専攻言語とそれが話される地域の文化や社会について多角的な視野から総合的かつ相対的に理解する能力、言わば異文化理解力を身につけ、それを国際社会という舞台で発揮できる人材を育成することを目的としているのです。

各専攻語では、入学年次から卒業年次までの一貫した言語教育を提供することはもちろんのこと、言語分野、文学分野、歴史・社会分野をいわゆる「3本柱」（専攻言語によっては政治・経済分野を含めて4本柱）として、専攻語地域のジェネラリストを育成すべく、各学問分野の方法論に基づいた専門的な授業を提供しています。外国語学部の「学び」は、言語研究と人文社会的地域研究の成果を融合させた言わば「言語地域学」あるいは「語圏学」であると言えます。「言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ Culture Through Language, Language Through Culture」という学部教育のモットーはまさにこれを象徴しています。

本学部では、大学間学術交流協定や部局間協定に基づく交換留学などの公費留学のみならず、様々な私費留学制度の情報を収集・提供することで、学生の海外留学を応援しています。実際に、毎年400名近くの学生が、授業を通して習得した高度な外国語運用能力と外国に関する幅広い知識、異文化理解力をさらに向上させるべく、世界の各地で海外留学を経験しています。海外留学の経験は、学んだ知識と個人的体験とを若い感性で有機的に結びつける絶好の機会であり、そうして得られた個々人の国際感覚こそが異文化理解にとって重要であると考えます。

外国語学部のあゆみ

1921年（大正10年）　大阪外国語学校創立
1944年（昭和19年）　大阪外事専門学校と改称
1949年（同 24年）　大阪外国語大学設置
1979年（同 54年）　箕面市粟生間谷に移転
2007年（平成19年）　10月1日、大阪大学と統合

CONTENTS

外国語学部長あいさつ …… 1
外国語学部とは
外国語学部のあゆみ
ネイティブ教員からのメッセージ …… 3

専攻紹介（P5～29）をご覧ください。

各専攻のアドミッション・ポリシーを
それぞれの紹介ページ冒頭に記載しています。

各専攻紹介のページでは、冒頭に「こんにちは」を意味する言葉をそれぞれの言語の文字表記で載せています。

アドミッション・ポリシー …… 30
外国語学部のカリキュラム …… 31
就職状況 …… 32
交換留学制度 …… 33
卒業生からのメッセージ …… 35
箕面キャンパス施設・設備案内 …… 37
箕面キャンパス所在地経路図 …… 38

ネイティブ教員からのメッセージ

郭　修静先生

中国語 専攻 P5

初级汉语学习的要诀就是加强口部运动.
让我们一起学习汉语吧!
中国語はスポーツです。
一緒に中国語を勉強しましょう。

テッ テッ先生

ビルマ語 専攻 P12

မြန်မာစကားပြောကြရအောင်လား။

ビルマ語を一緒に話しませんか

趙瑜美先生

朝鮮語 専攻 P6

한국어를 즐겁게 배워 봅시다.
韓国語を楽しく学びましょう。

ヴェーダ先生

ヒンディー語 専攻 P13

हिन्दी सरल एवं प्रिय भाषा है।
सरलता एवं प्रेम से आओ, इसे सीखें।

ヒンディー語はやさしい言葉です。
気軽な気持ちで来てください。
さあ、学びましょう！

バヤルサイハン先生

モンゴル語 専攻 P7

Монголын өвөрмөц нийгэм ахуй, түүх,
өв соёлын өнгөрсөн,
одоо, ирээдүйд нэвтрэх үүдийг нээж,
монгол хэл сурцгаая.

モンゴル特有の社会様式、歴史、文化遺産の
過去・現在・未来に通じる扉を開き、
モンゴル語を学びましょう。

マルグーブ先生

ウルドゥー語 専攻 P14

اردو شیریں اور خوب صورت زبان ہے۔
آئیے، اردو سیکھیں!

ウルドゥー語は甘美な言葉です。
さあ、ウルドゥー語を学びましょう！

ドゥウイ・プスピトリニ先生

インドネシア語 専攻 P8

Bahasa Indonesia adalah pintu masuk untuk mempelajari budaya Melayu di Asia Tenggara dan juga budaya suku-suku bangsa di Indonesia yang tersebar dari Sabang sampai Merauke.

インドネシア語は、サバンからメラウケまで広がるインドネシアの様々な民族の文化、また東南アジアのマレー文化を学ぶための扉です。

エル・シャルカーウィー先生

アラビア語 専攻 P15

أنا البحر في أحشائه الدر كامن
فهل ساءلوا الغواص عن صدفاتي

われは海　沖つ白玉はらめども　海人に貝殻問ふ人はなし

(大意：海のように広大なアラビア語に秘められた真珠(白玉)のような美しさ、素晴らしさに気づいている人がどれほどいようか？(われ=アラビア語))

サマール先生

フィリピン語 専攻 P9

Isang paanyaya sa isang buong bayan at kasaysayan ang pag-aaral ng wika patungo sa pagkakaunawaan at pagkakaisa.

相互理解と絆の構築を目的とした外国語学習が、当該国の現在や過去を知ることにつながる。

レザーイー先生

ペルシア語 専攻 P16

چون شکر شیرین و چون گوهر زبان پارسی ست

ペルシア語は砂糖のように甘く、
まるで宝石のよう。

マリワン先生

タイ語 専攻 P10

เรียนภาษาไทย เข้าใจสังคมและวัฒนธรรมไทย

タイ語を学び、タイの社会と文化を
理解しましょう。

ディリック　セバル先生

トルコ語 専攻 P17

Merhaba! Türkçe size zengin Türk kültürü ve Türk dünyasının kapılarını açar. Hep beraber Türkçe öğrenelim.

トルコ語は豊かなトルコ文化及びチュルク民族の世界への扉を開きます。皆さんと一緒にトルコ語を勉強しましょう。

トー先生

ベトナム語 専攻 P11

Quan hệ Nhật Việt ngày càng tốt đẹp
Hãy học tiếng Việt và nắm bắt cơ hội.

日越関係はますますよくなっています。
ベトナム語を学んでチャンスをつかみましょう。

ザイナブ先生

スワヒリ語 専攻 P18

Tujifunze Kiswahili!

スワヒリ語を勉強しましょう！

ロシア語 専攻 P19

シピトゥーニナ先生

Умом Россию не понять,
Аршином общим не измерить:
У ней особенная стать —
В Россию можно только верить. *Ф. Тютчев*

頭では ロシアは理解 できぬもの　共通の 物差しをして 測れぬもの
ロシアには 独自固有の 立ち姿　ロシアとは 信じることしか できぬもの
チュッチェフ(井上幸義訳)

フランス語 専攻 P25

ポレ先生

Bienvenue dans l'univers de la langue française !

フランス語の世界へようこそ！

ハンガリー語 専攻 P20

コヴァーチ・レナータ先生

Magyarul tanulni szórakoztató!

ハンガリー語は楽しい！

イタリア語 専攻 P26

カルディ先生

Ciao! Studiamo insieme l'italiano e scopriamo un paese ricco di storia, tradizioni culinarie e bellezze artistiche!

こんにちは!歴史、美術、美味しい食文化などの
魅力に溢れるイタリアを発見し、
一緒にイタリア語を学びましょう。

デンマーク語 専攻 P21

マーティン先生

Du bliver kun lykkelig,
hvis du lærer dansk!

幸せになるためのデンマーク語！

スペイン語 専攻 P27

フィナ先生

¡Ven a aprender español!
Una lengua fácil que te abrirá el tesoro de muchas culturas en el mundo.

スペイン語を学びに来ませんか。
世界の文化という宝物を知ることができる
気さくな言語です

スウェーデン語 専攻 P22

ウルフ先生

Upptäck Sverige hos oss!

「私たちと一緒にスウェーデンを発見しよう!」

ポルトガル語 専攻 P28

デゼン先生

Olá, sejam bem-vindos! Vamos estudar a língua portuguesa e aprender sobre cultura luso-brasileira!

みなさん、ようこそ！いっしょにポルトガル語を勉強し、
ポルトガル・ブラジルの文化について学びましょう！

ドイツ語 専攻 P23

ラッペ先生

Deutschland – Land der Philosophie

ドイツ　－　哲学の国

日本語 専攻 P29

儀利古　幹雄先生

知っているつもりで実は謎が多い
身近な日本語・日本文化について
一緒に勉強しましょう

英語 専攻 P24

メイリー先生

My name is Ashlyn Moehle. I grew up in the United States of America, where I became interested in foreign languages from a very young age. It was at the University of California that I had my first encounter with Japanese. Here at the School of Foreign Studies, I teach classes that help learners strengthen and refine their use of English to expertly navigate and negotiate in communicative settings. I also lead reading and discussion classes that explore language at various levels of linguistic analysis, providing a glimpse into the dynamic and fascinating nature of a living language like English.

ホフメア先生

You have spent many years at school studying the English language. Now the time has come to start putting your skills to use (and this is the fun part!) In the discussion classes at our department, you will have the opportunity to learn how to discuss relevant and important issues as well as how to persuasively express and defend your own ideas and opinions in English. From the third year, you will be able to choose from a range of elective courses with a more academic focus. The courses that I teach, for example, introduce students to exciting fields such as sociolinguistics and political philosophy. Why not join the discussion?

ワッツ先生

Hi!
My name is David Watts. I am originally from the UK, but I have lived in Japan for over 10 years now. I studied Japanese and Linguistics at Sheffield University and have a Masters Degree in TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages) from The University of Bristol.
At Handai, I teach Academic Writing and English classes to undergraduate and graduate students, many of whom have either studied abroad or are planning to do so in the future. My English language elective classes examine Local and Global Issues, European Cultures and Societies and Japanese Cultures and Societies. My aim is help all my students improve their English skills and abilities in all these fields in a supportive and enjoyable atmosphere.
I'm looking forward to meeting you in class!

中国語専攻

中国語学習を通じて、中国および中国語圏諸地域の言語、文化、社会についての高度な知識を得たいと考え、そのために深い探究心をもって問題にとりくみ、中国語で積極的に学習や研究の成果を発信することを目標とするような学生を求めています。

外灘から望む浦東のビル群（上海）

あなたが大阪大学に入学してまず出会う中国語は、世界一の13億の人口、世界第3位の広さの国土、56の民族、それに伴う数十の言語をもつ中国と、世界中に広がる華人社会の共通語である言語です。

1年次では、「听」(きく)、「说」(はなす)、「读」(よむ)、「写」(かく)の各技能を総合的に学び、この言語の世界に、どっぷり浸かることになります。

2年次以降は、みなさんの志向次第で、次に挙げるような、さまざまな「中国語」を学びつつ、中国のいろいろな側面に触れることができます。

まず、現代中国の言語・文学・歴史・政治・経済・社会などを学ぶ手段としての中国語。これを学ぶことで、前掲の学問分野に対する基礎的な知識が身につくとともに、あなたの中国語は、より幅広く、知的なものになるでしょう。

また、共通語とはかなり異なった方言である広東語は、あなたの中国語に対する知識を多角的なものにするための、また、独自の歴史・民俗・風土などを知るための、最良の足がかりとなってくれるでしょう。

あるいは、近代から遥か古代へと遡っていく、歴史的中国語もあります。これを通して、あなたの中国への視点は、時間的な奥行きをもつことでしょう。

3・4年次では、ゼミに所属します。あなたが「どのゼミにしようか」と悩むとき、あなたは、きっと、それまで学んだ、さまざまな中国語が、ゼミでの多様な専門分野の学習に不可欠であったことを知り、今までのハードな勉強は、このためであったかと達成感を覚えてくれるものと、わたしたちは期待しています。

聖ソフィア教会（ハルピン）

中国語専攻ホームページ
http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/chinese/web/

「ニィ ハオ」
你好

学生の声　2年　武田　庸平

中国語専攻はすごく楽しいです！私は入学後計３度中国語圏に行く機会がありました。１年生冬休みの中国語劇団の台湾公演、春休みの上海研修、そして２年生の５月に参加した大連理工大学との交流会。このように中国語専攻では実際に中国語が話されている地域に行き「ホンモノ」に触れるチャンスが沢山あります。

１年次春の上海研修では地下鉄や高速鉄道に乗ったり、買い物をしたり、値切り交渉をしたり、現地の学生と交流したり、初めて尽くしの研修でした。２週間中国語の知識をフル活用して非常に充実した時間を過ごしました。そして大連理工大学との交流会では現地の先生や学生の手厚い歓迎、そして何より中国語漬けの１週間、大学に入って最も中国語を多く話した１週間であり、最も充実した１週間でした。このようなプログラムを通して知り合った現地の学生は今でもみんな“好朋友”親友です。

また、私は１年生の頃から中国語劇団に所属しています。１つの劇を作り上げるにはセリフの暗記、演技指導、道具の準備など大変な道のりですが、その分、得られるものも大きいです。先輩、後輩、中国語圏からの留学生はみんな学年を超えて仲がいいです。語劇の練習を通して日本国内で中国語の表現力や中国文化の知識を習得できることは大きな魅力だと思います。私自身、中国語専攻を選んで本当に良かったと強く思っています。

ぜひ皆さんも中国語という美しいことばのシャワーを浴びましょう。

中国の上海研修時の豫園にて

留学体験記　4年　鐘ヶ江 理佐

私は約一年間、交換留学生として北京大学に留学しました。半年間は留学生クラスで毎日中国語の勉強に励み、残りの半年間は北京大学の学生と共に授業を受けました。留学生クラスでは、学生と先生との距離が近く、いつでも相談ができる環境が揃っていたので、学習面、生活面で特に大きな不安もなく、勉強や課外での活動に専念することができました。残りの半年は、自分の興味がある授業を選択して受講しました。私は中文学科で現代中国語言語学の授業を履修し、そこで学んだ知識が帰国してからの勉強に生かされていますし、何より中国人学生と共に学んだことが自分のなかで、大きな自信となっています。また、北京大学の日本語専攻の授業も履修し、中国から見た日本や日本語を学ぶよい機会になったと思います。また、日本語を学ぶ学生と交流し、よい刺激を受けることができました。

勉強以外にも、中国にいるという利点を生かして、日本からは少し行きづらいような都市に旅行にいったり、同じく中国に留学している同級生を訪ねる旅をしたりしました。また、中国には日本よりも、キャッシュレスやシェアサイクリングが進んでおり、そのような現代の中国社会のサービスをリアルタイムで享受できるのも、留学の醍醐味だと思います。

中国語専攻は交換留学先の大学の選択肢も豊富で、素敵な先生方や先輩、仲間と出会うことができ、自ら学びたいと思えば、さまざまなことを学べる環境が整っています。みなさんも中国語専攻で充実した大学生活を送ってみませんか？

留学体験記　4年　河村　　樹

中国語専攻の魅力は「言語学習環境の充実」、「中華圏に関する教養の向上」だと思います。

中国語専攻では、中国語ネイティブや著名な日本人教授の授業を受けることができ、言語学習環境が充実しています。カリキュラムに関しては1、2年次では、発音・文法・スピーキング・リスニング・リーディングを学び、中国語の基礎を身につけます。

そして、３年次ではゼミに入り、言語以外にも中国の政治・経済・文化など好きなジャンルを研究することになります。僕はこの時、台湾関連のゼミに入り、台湾の原住民や歴史などについて学べました。このように中国語専攻では、言語だけでなく、幅広い教養を得ることができます。また、台湾ゼミの経験もあり、僕は2018年３月から2019年１月まで台湾の台北に留学しました。その際、僕は2ヶ月間にわたり、1人で徒歩による台湾一周（徒歩環島）を行いました。その旅の中で、台湾の南にある「牡丹者事件記念館」という場所に行きました。ここは、明治初頭に遭難により台湾南部に漂着した宮古島の住民と原住民が争うという悲しい出来事が起こった場所です。

かなり辺鄙な場所にあるので、もし以前に台湾ゼミで知らなければ、この場所に実際に来ることもありませんでした。

以前にゼミで学んだお陰で教養が向上し、実際に活用できたのです。このように、中国語専攻では中華圏における包括的な教養を身につけることができます。

朝鮮語専攻

朝鮮・韓国の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人。朝鮮語でコミュニケーションする能力を身につけたい人。日本と朝鮮・韓国間の相互理解を深める架け橋になりたい人。

民族の聖山　白頭山（ペクトゥサン）（標高2,750m）　山頂の天池（チョンジ）（最深部384m）

受験生のみなさんに、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路について、簡単ではありますが、案内いたします。

教育課程の基本的内容は、学年別にみると次のとおりです。

1年生と2年生は、朝鮮（南北朝鮮）の言語の習得が中心です。朝鮮語の音声組織、文法構造、語彙の習得が朝鮮語実習としておこなわれます。これとともに、朝鮮の言語文化と、近現代の歴史・社会のそれぞれについて、講義があります。3年生と4年生は、朝鮮語の語学力そのもののさらなる向上のために朝鮮語演習があります。これと同時に、朝鮮語を基底とした言語・文化・文学についての講義が進められます。3・4年生ではさらに言語・文化・文学の演習があります。これらの演習では、学生自身が言語・文化・文学の中からタイトルとテーマを設定し、学習、研究を進めます。4年生は、卒業するためには、卒業論文を作成しなければなりません。

朝鮮語専攻の学生は、以上のような教育課程を履修しながら、3、4年生になると海外留学する人が少なくありません。留学先はさまざまですが、大韓民国が中心です。留学先大学での修得単位が、本学での修得単位として認定されることが可能な場合があります。

学生の卒業後の進路は、朝鮮語専攻の前身である大阪外国語大学朝鮮語学科以来、多くの卒業生が商社、販売流通、金融、マスコミ、国際交流、公務員（一般、教職、外務など）その他各界で活躍しています。この就職先の傾向はここ数年も基本的に変わっていないようです。卒業生の中には、大学などで研究に携わっている人もいます。

以上が、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路の概略です。

受験生のみなさん、朝鮮語専攻に入学されることを期待しております。

「アンニョンハシムニカ」

안녕하십니까？

学生の声　3年　岸野 奈津子

私は2017年４月に大阪大学に入学し、２年間専攻の勉強をした後、現在は2019年３月から交換留学生として釜山大学校に留学中です。私が高校生の時に朝鮮語専攻への受験を決めた頃は朝鮮半島や日韓関係、日朝関係に関する知識はおろか、朝鮮語に関する知識すらほとんどない状態でした。今思えば、どちらかというと大阪大学というネームバリューに惹かれ、韓国に少し興味、関心があるという安易な気持ちで受験を決めたように思います。しかし、朝鮮語専攻での学びは学べば学ぶほど興味深いもので、入学時より現在のほうが学習意欲が湧いています。外国語学部は各専攻語の授業がほとんど毎日あり、ついていくのが大変な時もありますが、その分速く深く様々なことが習得でき興味も湧いてくると思います。単に言語を学ぶだけでなくその地域の歴史、政治、文化や日本との関係についても学ぶことができるのが魅力的な部分でもあります。正直、予習量がとても多かったり授業の進度が速く感じられたり、周囲の学生たちのレベルの高さに自信を失ってしまうこともありましたが、交換留学に来て感じたのは、大阪大学での質の高い学びがあったからこそ留学時に必要とされる力がついていたということです。外国語を学び、それを利用して自分とは違う文化で育った人たちと話し、様々な価値観に触れることはとても楽しいことです。ぜひ朝鮮語専攻で一緒に学びましょう。

留学体験記　4年　矢田　慶吾

私は１年間、韓国のソウル大学に交換留学しました。実際に韓国で生活することで、語学力を延ばすだけでなく、肌で文化や歴史を感じたいという思いから、留学に至りました。留学先では午前中に語学堂に通い、午後はソウル大学の正規授業を受講していました。語学堂では韓国語を学びに留学に来た外国人の方と一緒に授業を受け、「読む、書く、話す、聞く」を中心とした総合的な語学力向上に努めました。ビビンバ作り体験や演劇鑑賞など、多種多様な文化活動も行い、多角的に文化を理解することができました。大学の授業では、韓国人学生と共に受講し、専門的な内容についてのグループ発表やディスカッションが多かったです。私は韓国文学の授業で、韓国と日本を比較しながら、日本の和歌について発表しました。自身の発表を通じ、韓国人学生が日本の文学や文化に興味を示してくれたことに大変やりがいを感じました。海外に留学することで、自国に対して改めて考える良い機会となりました。また課外活動では、世界各国から集まった留学生と交流するサークルに所属し、旅行やイベントを通じて親交を深めました。彼らとの交流で世界の文化を肌で感じるとともに、言葉の壁を越えてつながることができたと感じます。

振り返ってみると、留学生活の１年間は私の人生において欠かすことのできない貴重な時間であったと感じます。みなさんも自分自身を大きく成長させる留学に挑戦してみてください。

モンゴル語専攻

モンゴルの言語と文化に強い関心を持ち、モンゴル語を習得して、異文化としてのモンゴルの多様性を積極的に学ぼうとする明確な目的をもった情熱ある人。

私たちの暮らす東アジアの北に位置するモンゴル国は、1990年代初頭の民主化以降、日本人にとって非常に身近なアジアの一国となりました。それまでの社会主義であった時代には考えられないほど、双方の人々の往来は自由で活発なものとなっています。毎年日本からは、多くの観光客やメディア関係者らがモンゴルを訪れ、報道や特集も日常的になっています。また、日本では国技とされる相撲界でのモンゴル人力士の活躍も目覚ましく、連日メディアを賑わせていますが、モンゴル語は、このような私たちにとって身近なアジアの隣人であるモンゴル国の公用語です。

本学モンゴル語専攻では、そのようなモンゴルについて、その言葉の学習を通じて、文化や歴史、自然、民俗、宗教、思想、社会、方言など、関連する様々な方面への理解を深めます。モンゴル語の語順は、日本語と同じくいわゆるSOV型です。名詞類は日本語の「てにをは」に当たる格変化を持ち、動詞の活用も基本的に規則変化します。英語などと違い、日本語の語順で考え話すことができる、非常に学びやすい言語の一つです。文字は2種類使われています。1つは13世紀にチンギス・ハーンが建てたモンゴル帝国以来800年あまりに渡って使われてきた縦書きのモンゴル文字と、1940年代に新たに導入されたロシア文字基盤のアルファベットですが、その両方を学びます。日本人スタッフとネイティブによる授業で、1-2年次には、生きたモンゴル語を基礎からしっかり身につけます。3-4年次には、学んだそのモンゴル語を生かして、卒業論文の作成等を目指し、各人の興味ある分野をより突き詰めて研究できるようなカリキュラムになっています。

本学での学生生活は、1年次には豊中キャンパスで、2年次以降は箕面キャンパスで勉強します。大学内では、各種クラブ活動やサークルに参加したり、在学中に休学して、モンゴルや中国、英語圏などへ留学し、語学力等の向上を目指す意欲的な学生もいます。

本学モンゴル語専攻は、旧大阪外国語大学モンゴル語科を引き継ぎ、大阪外国語学校以来九十余年の長きにわたる歴史を持っています。特に作家、故司馬遼太郎氏の出身としても知られてきましたが、卒業後の進路に関しては、そういった文筆活動のみならず、大学でのキャリアを生かし、外務省をはじめJICAや、新聞社などの海外特派員、企業の駐在員といった、国際舞台に活動の場を見出した人も多くいます。また、教育者となって全国各地で教鞭をとったり、進学して研究者になったりと様々ですが、就職状況も例年概して良好です。

皆さん、一緒にモンゴル語を学びましょう。

さあ、走り出そう！

「サィン バィノー」

Сайн байна уу?

学生の声　4年　増田　愛

こんにちは。2016年度入学の増田愛です。今回、私がモンゴル語専攻を選んだ理由、またこの4年間で学んだことを紹介します。

私は高校時代から世界各国の言語、特に比較的話者が少ない言語に興味がありました。話者が少なくても、その言語は日本語と同じように完全に文法が確立されており、誰でも学ぶならそれらを習得することができる、という点に魅力を感じていたからです。そして高校3年生の時にモンゴルの写真を見たことをきっかけに、大草原と満天の星の下に生きるモンゴルの人々の姿に心を惹かれて、モンゴル語を志望しました。

入学してからはモンゴル語の文法、また彼らの歴史、文化、現代の社会問題などを中心に学んできました。それらの背景にある彼らの深い思いも学んでいく中で、この4年間、「生きる」ということをたくさん考えさせられたように感じます。

また私はこれらに加え、将来を見据えて英語の学習にも自ら取り組んでいました。2年生の9月の1ヵ月間、カナダ・バンクーバーへ、また3年生の9月の1ヶ月間、イギリス・ロンドンへ語学の短期留学をしていました。また3年生の8月には10日間カナダのロッキー山脈を巡る現地のツアーに参加し、世界各国の若者たちと語り合う貴重な経験ができました。

この大学と専攻語は、自分の意欲次第でどんなことでも追求していけるところだと思います。皆さんに少しでも興味をもっていただけたら嬉しいです。

留学体験記　4年　庄　栞

私は3年生の後期の4か月間、モンゴル国立大学に交換留学をしました。

モンゴルは年中乾燥していて、氷点下30度以下にもなる冬の厳しい寒さが特徴的ですが、広大な草原、ゲルという移動式住居の居心地の良さ、モンゴルの方のおもてなし精神、可愛らしい家畜たち、一面満天の星、新鮮で美味しい羊肉（食べ過ぎて留学中に8kg増……！）など、オススメポイントも数多くあります。

また首都ウランバートルでは高層ビルが立ち並び、人も車もごった返していて、映画館やカラオケなどの娯楽施設もあり、休日は友達とおしゃれなカフェでランチ♪なんてことも、今となっては都会で暮らす人あるあるなのです。

留学中に知り合ったモンゴルの人たちは皆本当に頼もしく、何事にも寛容で、家族のように親しく接してくれました。また、彼らのエネルギッシュな行動力は自分自身をも成長させるきっかけになりました。

これらは全てモンゴルに関わらなければ経験できなかったことなので、私は今モンゴル語専攻であることを誇りに思っています。

モンゴル語は日本語と同じ語順をしているので文章を作りやすく、大げさに抑揚をつけずとも話すことができるので、日本人にとっては比較的取り組みやすい言語だと思っています。なのでマイナー言語だから……と敬遠せずに、ちょっぴり勇気を出して、モンゴルという未開の地へと足を踏み入れてみませんか？今までに感じたことのないワクワクがきっとそこにはありますよ！

インドネシア語専攻

多彩な数百の民族から構成される東南アジア最大の国家であり、日本とも深い関係を持つインドネシアについて、インドネシア語の習得を基盤としながら、言語・文化・社会・宗教・歴史などの様々な面から積極的に学び、理解を深め、その成果を生かして、社会に貢献していきたい人。

アチェの中央モスク

インドネシアは約2億5千万人（世界第4位）の人口をもつ、東南アジアの群島国家です。1945年に独立を宣言しました。

インドネシア語は、マレー語を母体として独自の発展をとげた、インドネシアの国語です。ローマ字で表記され、文法も難しくないため、今では全国に普及しています。一方、インドネシアには数百の地方語があり、日常生活においてはインドネシア語と共にそれぞれの地方語が使われています。

広大な国土と多様な民族集団をもつインドネシアに関して、私たちは何を学ぶことができるでしょうか。

歴史をひもとけば、ヒンドゥー・イスラム諸王朝の時代、オランダ植民地時代、日本占領時代、そして独立後の激動の歴史が私たちを惹きつけます。1998年の民主化を経て、インドネシアは新しい時代を迎えています。

各地に目を向ければ、多様な文化と社会があります。スマトラ島には母系制で知られるミナンカバウ人、カリマンタン島には「森の民」といわれるダヤク人、スラウェシ島にはかつて海洋王国を築いたマカッサル人、ニューギニア島にはパプアの人びとがいます。また、ジャワ、バリをはじめ、各地の絢爛たる芸術・文学は多くの人々を魅了し続けています。さらに、現代の芸術、文学、ポピュラー・カルチャーは同時代を写す鏡として興味深いものです。

今日、インドネシア社会は、グローバリゼーションの波の中で、変化をとげつつあります。経済が急速に発展する一方で広まった格差の是正、開発と環境のバランス、多宗教・多民族共存などが課題としてあります。

何を学ぶにせよ、インドネシア語は基礎となります。しっかりと言葉を学び、本当のインドネシアに触れる旅に出かけましょう。広く、大きく、多様なインドネシアは、私たちに多くの生きる手がかりを与えてくれるでしょう。

首都ジャカルタ

バリの儀礼

「スラマット シアン」

Selamat siang

学生の声　3年　廣田　柚衣

皆さんはインドネシア語にどんな印象を持っていますか？インドネシア語は文字がアルファベットで、発音もほとんどアルファベット表記のままです。他の専攻語が文字を覚えている段階ですぐに文法に入り、授業ではより実用的な事を学ぶことが出来ます。多くのインドネシア語文献を読んだり、発表原稿を作ったりすることで、自分の成長をとても感じられます。実際に一年生の夏の時点で、現地で値下げ交渉をし、現地の方にインタビューできるようになりました！インドネシア人留学生との交流もあるので、日本にいても話す機会はあります。人口が多く、これからも経済発展が見込まれるインドネシア。インドネシア語を学ぶことは、日本とインドネシアのビジネスにおいても両者をつなぐための架け橋となるのではないでしょうか？

様々な宗教、言語、民族が共存する島国インドネシアは旅行で行ってもとても楽しいです！日本から飛行機で七時間と近く、物価も安くてたくさんショッピングできます。特にフルーツはとてもおいしく、色んな種類があります。現地の方々は、日本人でインドネシア語を話せると珍しさからかとても喜んでくれます。そしてインドネシアの人々は自撮りが大好きなので、たいていの場合すぐ一緒に撮ることになります。

インドネシア語専攻は人数が少ないですが、その分とても強いきずなで結ばれていると思います。ぜひ一緒にインドネシア語を学びませんか？

留学体験記　4年　松井　惇

こんにちは、インドネシア語専攻４年生の松井惇です。

インドネシアにおける「普通」を現地で暮らすことで体感したい。そう思って僕は９か月間、デポックという街にあるインドネシア大学で語学留学をしました。向こうで暮らしている間にはインドネシア国内の様々なところへ行きました。

インドネシアと言われるときれいな海、オラウータンが生息する熱帯雨林など広大な自然が思い浮かぶかもしれません。ですが僕がインドネシアに惹かれるのはそういった自然だけでなく、人々の多様性です。14000 以上の島々、300 を超える民族があり、それぞれの地域において暮らし方、話す言語、街の雰囲気もまったく異なります。イスラム教色が濃い地域では、お昼の礼拝の時間は街中がしんと静まり返ります。大きな川が流れる街の中では水上マーケットが早朝から開かれています。森林を守るために現代文明を受け入れず昔ながらの生活を営んでいる人たちにも出会いました。一方でジャカルタは高いビルが立ち並ぶ大都会。ゆっくり暮らす人もいれば、クラクションを鳴らさずにはいられないせっかちな人もいる。色んな場所があり、色んな人がいました。

インドネシアの「普通」とは「普通」でまとめられないものである。それが僕が現地で暮らす中で感じたことです。僕もまだまだ行けていないところ、知らないことがたくさんあります。高校生の皆さん、まだ見ぬ世界を一緒に体感しませんか？

フィリピン語専攻

フィリピンの人・ことば・文化に関する研究テーマを多様な学問的視点から考え、それを自らのことばで表現し、私たちが暮らす市民社会に向けて積極的に発信したいと思っている人。研究テーマを深めたり、社会に貢献したりするために 、フィリピン語の言語能力を高める努力を惜しまない人。

オフィス街の聖母マリア像

フィリピン・マニラ首都圏のオフィス街の一角にある大きな教会と巨大な聖母マリア像。300年ものスペイン支配、その後数十年アメリカの統治により、欧米のキリスト教と自由主義を支えにした、グローバルな性格の強いフィリピンのシンボル、なのでしょうか。だからいま年率5%を超える順調な経済成長を持続させ、世界中に優秀な労働力を送り出し、また新たな英語留学先として人気を集めている？

フィリピンの歴史経験はもっと複雑です。多文化の社会なのに、外国の支配によって外来語である英語で無理にひとつにされ、一握りのエリート層が特権を握る社会とされ、様々の社会対立を経験してきました。欧米文化へのなじみはグローバル化の進む中で有利ではあり、特に多くの人々が海外に出稼ぎに行きましたが、結局海外で頼りになるのは同国人であり、そこで心を通い合わせられる言葉は、英語よりも、タガログ語を元に国語として教えられるようになったフィリピン語でした。グローバル化の中でフィリピンは苦しみ、その中で英語に熟達すると共に、自分たちの言葉であるフィリピン語を熟成普及させていったのです。

30年ほど前、この教会が現在立っている地域に多くの人々が集い、非暴力による独裁政権の交代を求めました。教会の呼びかけとビジネス界の後援もありましたが、政権に立ち向かう勇気を奮った普通の人たちが、フィリピン語で励まし合って祖国の変革のために立ち上がったのが、この教会とアジア人の風貌を持った聖母像が記念しているこの場所です。

グローバル化の中でこそ、自分たちの言葉を確立しつつあるフィリピン。その国語の魅力をぜひ一緒に学んでみませんか。

「クマイン カ ナ バ」

Kumain ka na ba? (もう食べましたか)

学生の声　3年　小澤　薫

Magandang hapon sa inyong lahat! Ako si Kaoru Kozawa. Filipino ang major ko. 多くの方がフィリピン語を目にされたことがないと思うので簡単な自己紹介をしてみました。(固有名詞、英語から推測して読んでみてください！）さてフィリピン語専攻では、フィリピン語はもちろん、地域社会・歴史・文化・宗教などフィリピン全般について学習しています。またタイ、ベトナム、インドネシア、ミャンマーと合わせた５専攻の先生方が連携されており、フィリピンに限らず東南アジア全体について学ぶこともできます。

フィリピン語は文字がアルファベットであり、発音もローマ字読みのものが多く、男性・女性・中性詞の区別もないため、比較的学びやすい言語です。日本の高齢社会化によってフィリピン人労働者の需要が高まりつつあり、在日フィリピン人もかなり増えてきています。彼らとより親しく、真摯に接するためには、英語ではなくフィリピン語を話せることが必要です。フィリピン語を話せる日本人は少なく、これを学ぶ重要性は非常に高いです。

フィリピン語専攻は１学年が十数人と少数であるため、先生方からより丁寧なご指導が受けられますし、また先輩方との繋がりも強く勉強・留学等様々な面でサポートしてくださります。そして何より同期とは大学生活の大半を共に過ごすため仲が非常に深まり、充実した学生生活を送ることができます。ぜひ私たちと一緒にフィリピン語を学んでみませんか？みなさんにお会いできる日を楽しみにしています！

留学体験記　4年　久留須 健一郎

“Walang Pasok”

私の好きなフィリピン語の表現の一つです。英訳するとNo class/work、つまりは休講のこと。もちろん冗談半分ですが、私は文字通りの意味を超えて、このフレーズが好きです。フィリピン大学で過ごした１年間でよく見聞きしたこの二語に、フィリピンの人々が持つ価値観の一端が垣間見える気がします。

留学生活では、私たち日本人には考えられないことを度々経験しました。その一つが休講の多さ。理由は様々、先生が来ないなんてことも。さらに、時刻表のない電車や昼食を食べながら授業を受けるクラスメート、鼻歌交じりで働く店員など、時間や規範を重んじるとされる日本ではありえません。でも彼らにとっては普通。ここで大事なのは、その価値観を自分たちのものと比較し、優劣を議論することではありません。日本を飛び出し、未知の常識に囲まれることでその存在を肌で知り、異文化のみならず自国の文化の見つめ方を知ることこそ、語学に留まらない、留学の貴重な財産であると言えます。

とはいえ、語学も欠かせません。授業や日常生活を通してフィリピン語はもちろん、もう一つの公用語であり、大学での授業で使われる英語も同時に磨きました。

また、休日には様々な場所を訪問しました。ビーチや火山など、息をのむような美しい風景やそこで出会った人々の優しさなども、深く心に刻まれています。

フィリピンでの１年間はあまりに短く、しかし濃密なものでした。皆さんもこんな体験、してみませんか？

タイ語専攻

タイ語による実践的コミュニケーションの能力を養い、かつそれを基礎にタイの社会的文化的ダイナミズムに対する深い洞察力を身につけたいと考える人を求めます。

タイといえば稲作・象・ムエタイ・仏教寺院というイメージを持つ人が多いと思いますが、現在のタイ国は、農林漁業就労者の人口が全就労人口の50%を割り、工業化とサービス産業を中心とした経済成長を遂げている「中進国」です。このようなタイの経済発展・工業化にもっとも深く係わっている国の一つが日本です。たとえば、タイの自動車産業は東南アジアの中心的役割を担っていますが、日本の大手自動車・自動車部品メーカーがそれを支えています。

タイは、豊かな自然環境、開放的で自由な雰囲気、安定した社会体制、物価の安さなど、外国人にとっても大変居心地の良い国であり、タイを訪れる日本人観光客は年間約100万人、長期滞在をする日本人の数は6万4千人（大使館の在留届）にのぼり、短期滞在ビザで滞在する人を含めると、10万人ちかくの日本人がタイで生活しています。また近年訪日タイ人観光客数が急増しており、2016年には約90万人のタイ人が日本を訪れました。日本国内には留学生を含むタイ人長期滞在者が4万5千人います。このように、日本とタイは経済的な面に加え、人的交流の上でも大変密接な関係を築いています。

60年数年の歴史を持つタイ語専攻の卒業生は様々な分野で活躍していますが、特に、日タイ間の架け橋として活躍している人材が多数輩出しています。タイ国内で活躍している卒業生も多く、バンコクの同窓会の活動は非常に活発です。

タイ語専攻では、タイ語の運用能力を養いながら、タイについての総合的な知識を学ぶためのカリキュラムを組んでいます。1・2年次にタイ語の基礎を学び、その上で3・4年次にはタイの言語、社会・文化、政治・経済、文学、歴史について専門的に学べるようになっています。

また、交換留学の協定を結んでいる大学が多いので、3・4年次にタイの大学に留学する学生も多数います。外国語学部をはじめ、大阪大学に留学しているタイ人留学生との交流も盛んで、授業だけではなく、キャンパスライフの中でタイの人と接する機会も多いのも特徴です。

「サワッディー」

สวัสดี

学生の声　3年　富田　雅大

皆さんはタイと聞いて何を思い浮かべますか。お寺やタイ料理でしょうか。私はタイ語専攻に入る前、タイという国に関心はあったもののあまりタイへのイメージを強く持っていたわけではありませんでした。しかし、そんな私でも今や毎日のようにタイの友達と連絡を取り合ったりタイの映画やドラマを見たり、休暇にはよくタイに行ったりします。それには三つの大きな要因があります。一つ目は毎年一、二年生が一緒にタイを訪れる研修です。私は研修で初めてタイに行き、滞在先の大学の学生との交流等、タイの方々とたくさん関わり、とてもタイが好きになりました。タイの方々の優しさに触れ、よりタイ語を勉強したいと思うようになりました。二つ目は先生方です。タイ語専攻の先生方はとても優しく、タイ語に関する質問や留学の手続きなど、常に親身に接してくださるほか、授業ではタイの映画やドラマ、広告などからタイ語を学ぶ機会があり楽しく学べる素晴らしい環境です。三つ目は学生同士の仲の良さです。タイ語専攻は一学年15名程度であるため、同級生みんなで行動する機会も多くとても仲が良いです。さらに、研修のほかにも先輩方や後輩を含めたタイ語専攻の学生みんなで集まる機会もあり学年を越えた繋がりも大きな特徴です。タイの留学生が来る時期には歓迎会を行いみんなで盛り上がります。このように大阪大学のタイ語専攻は私にとって楽しく充実した学生生活を送れる最高の場所です。

留学体験記　4年　中西 美奈帆

私は大学3年生の8月から10ヶ月間、タイの首都バンコクにあるチュラロンコン大学に留学していました。留学期間中は授業や部活、行事の他に旅行やイベントなど様々な活動に取り組みましたが、その全てを通して私が1番に感じたことは「人の温かさ」でした。チュラロンコン大学では基本的に全てタイ人ネイティブ用の授業を留学生も一緒に履修するのですが、留学当初は本当に右も左もわからず、先生が今どこを説明しているのか、今日は課題があるのか無いのかすらもわからないところからのスタートでした。毎日授業に行っても何もわからずただ座って帰ってくるだけ、そんな日々の中でいつも私を助けてくれたのは同じ授業を受けているタイ人の友人達でした。何度聞いてもわからない私に対し怒る事もせず時間をかけてゆっくり教えてくれたり、グループワークをする際には「これとこれはどっちがいいと思う？」と私の意見を聞いて取り入れようとしてくれたり…本当に何度助けてもらったかわかりません。彼女達のお陰でとても楽しく充実した留学生活を送ることが出来ましたし、何よりこの先もずっと続くようなかけがえのない友人達に出会うことができたと思っています。留学は確かに言語を学びに行く場ではありますが、その国の文化や人、価値観に触れ様々な経験をすることで、言語以上に多くのものを得ることができる場だと私は感じています。

ベトナム語専攻

ベトナムに強い関心を持ち、ベトナムの言語と文化の学習に意欲的な人。そして、学んだことを活かして、国際的な仕事に就きたい人。

ベトナム社会主義共和国は東南アジア大陸部の中で9270万人という多数の人口を誇り、急速な経済成長を遂げる文字通り「元気」な国の代表です。そして我がベトナム語専攻は、大阪外国語大学時代の古き良き伝統を維持しつつ、新しい時代に向かって進化を遂げ続ける、本国に負けない「元気」な専攻の一つです。

古き良き伝統とは、まず「大家族ベトナム　Dai gia dinh Viet Nam」を正に体現する専攻内の結束の強さです。これはベトナム戦争を勝ち抜いたベトナム民族の結束とその力強さを誰もが学ぼうとする気持ちの現れともとれます。ベトナム人留学生と日本人学生とが肩を寄せ合って一緒に勉学する姿もベトナム語専攻の特徴の一つです。初級・中級を終えた3・4年生の授業では、ベトナム人と日本人が一緒に参加する授業がいくつかあります。そこでは、互いにベトナム語で議論する光景がしばしば見られます。日本にいながら常にベトナムを感じつつ、ベトナムの良さを学ぼうとする学生で溢れています。また、ベトナムの誇る「孝客hieu khach」（客をもてなす）文化もちゃんとここにはあります。分け隔てなく客人をもてなす上級生達が、皆さん新入生を心から手厚く歓迎してくれることでしょう。

ところで、ベトナムと日本の関係は意外と古く「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」の歌でお馴染みの阿倍仲麻呂の時代にさかのぼります。中国で科挙の試験に合格し官僚となった仲麻呂は、当時安南都護府と呼ばれた地に趣きます。そこは取りも直さず今のベトナムの首都ハノイの辺りだと言われています。今のベトナムに目を向けても、箸や爪楊枝を使い、米を主食とする食文化、かつては漢字を使った歴史、誰もが認める「勤勉さ」に加えて、日本語の敬語にも通ずる相手を気遣う言葉使い、昔どこかで見かけた様な田園風景など、我々日本人が自分のルーツを探ろうとする時、一度はそこに立ち止まりたくなることばかりです。「水を飲んで源を思うUong nuoc nho nguon.」日本人として知るべきことの多くを教えてくれる大切な国です。

「家に入っては俗に随えNhap gia tuy tuc」ベトナムに興味のある人はもちろん、選択に迷っている諸君も、まずはここに身を置いて、その空気を思う存分吸ってみて下さい。必ずや有意義な学生生活が待っていることを約束します。

最後に言い忘れましたが、ベトナム語専攻では女性陣の声が大きく逞しいことも彼国と同じです。「一に奥さん、二に神さんNhat vo, Nhi troi」男性諸君、負けずに頑張ってください。

「シーン　チャーウ　カーック　バーン」

Xin chào các bạn!

学生の声　4年　森本　大聖

皆さんは、ベトナムについてどんなイメージを持っていますか？伝統衣装のアオザイ、フォーに代表されるベトナム料理、あるいはベトナム戦争などでしょうか？テレビや新聞などで連日「ベトナム」という言葉を耳にする今、ベトナムは、皆さんにとって馴染みのある国になってきたかと思います。今回は、そんなベトナムのことを専門的に学べる、ベトナム語専攻について紹介します。

ベトナム語専攻は、一学年20名弱の小さな専攻ですが、アットホームな雰囲気が特徴です。また、専攻をあげて取り組むイベントも多く、ベトナム料理試食会、民族衣装コンテスト、ベトナム研修、語劇など、枚挙に暇がありません。その中で特に印象に残っている、ベトナム研修と語劇について紹介したいと思います。

ベトナム研修では、一年生の夏休みを利用して、約三週間ハノイで集中的にベトナム語を学びます。半年ほどしかベトナム語を学んでいないほぼ初心者の状態で、授業を受けたり、街へ繰り出したりするのは、多くの苦労を伴いますが、拙いながら自分の言いたいことを伝えられたり、相手の言っていることを聞き取れた時の喜びは今でも忘れられません。

もうひとつ強く記憶に残っているのが語劇です。ベトナム語専攻は例年、ベトナムの昔話をベトナム語で演じます。舞台に立って演じること以外に、台本、大道具、音声、照明なども自分たちで行います。語劇は、演技をして体を通して昔話を理解していくと共に、専攻の団結を意識できる良い機会だと感じました。

ベトナムは魅力に溢れた国です！現在僕は、入学前は少しも知らなかったベトナム映画の虜になっています。皆さんもぜひベトナム語専攻に入って、一緒にベトナムの魅力を発見しましょう。

留学体験記　4年　橋本　碧

皆さん、こんにちは！

皆さんが思い浮かべるベトナムに対するイメージはどんなものですか？

きっと、学校の先生に勧められたとか、ベトナム料理がおいしいなど、みなさんそれぞれに思い描くイメージがあるかと思いますし、せっかく外国語学部に入学するなら留学に行きたいと考える人も多いのではないでしょうか。

私は1年生の頃の語学研修が忘れられず、3年生の春からベトナムの首都ハノイに約10か月留学し、ベトナムの食文化や生活を楽しんだのはもちろん、語学研修でお世話になったベトナムの人々と現地で再会したり、ほかの都市に留学中の同期と落ち合ったり、また日本ではできないようなボランティアやチャレンジにもたくさん挑むことができました。中でも印象的だったのは、バスを使って1週間でベトナムをほぼ縦断した一人旅で、南下するにつれて変わっていく方言や気候、料理を楽しみながらたくさんのベトナムの人々に助けられたのはかけがえのない思い出になりました。

ベトナム語専攻は、丁寧に指導してくださる先生方や、留学・授業について詳しく教えてくれるあたたかい先輩方との距離が近いことや、民族衣装のアオザイを着たり、たくさんの人にベトナム料理をふるまう箕面キャンパスの夏まつり、みんなで作り上げる語劇など、1学年16人前後の少人数だからこそ楽しいことも多く、ここでは紹介しきれないほどです。

皆さんも、ぜひ私たちと一緒にベトナム語専攻で学びましょう！お待ちしています！

ビルマ語専攻

ビルマ語の習得を基本にミャンマーの言語や文化、歴史、社会などの探究をとおして、他者を深く理解し共に生きていく意志を育みたい人を求めます。

あるお寺の境内で出会った子どもたち
（モン州モーラミャイン市、2003年2月）

「おもしろい文字ですね」
「目の検査のようですね」

検眼表の円い図形や知恵の環を思い起こさせるユーモラスなビルマ文字で書かれたビルマ語は、ミャンマー連邦（1989年対外的な英語呼称BurmaをMyanmarに変更）の公用語であり、5,141万（2014年）国民の共通語（母語人口はその4分の3強）です。

ビルマ語の最古の文献は通称ミャゼディ碑文（1112年）で、四面体の石柱にバガン朝のチャンシッター王の遺徳を讃えた顕彰碑がモン語・パーリ語・ピュー語・ビルマ語の4つの言語で刻されています。今では死語となったピュー語が含まれていることから、この碑文は「ビルマのロゼッタ石」と呼ばれたことがあります。

ビルマ語の話し手の社会は、インド文明とシナ文明の影響を受けた点で、また、稲作文化を基調とする点で、東南アジアのほかの地域との共通性をもっています。宗教的には、南伝上座部仏教を信仰する人たちの社会と、社会規範や価値観を共有しています。さらには、少数民族との接触による文化の相互作用も、東南アジア大陸部に共通にみられる現象です。こういった関心は、遠く北方の雲南・貴州の地の人々の文化にも私たちを誘（いざな）ってくれるでしょう。

ビルマ語を専攻言語として選ぶ人たちは、当然のことながら、まず、ビルマ語の運用能力を身につけることが求められます。そして、その背後にある基層文化を言語・文化・社会の各面にわたって、総合的に学ぶことになります。また、関連する言語として、チベット語のほか、カレン語など少数民族の言語も学ぶことができます。

（注：「ビルマ」という地名は、幕末の地理書で、箕作省吾（みつくりしょうご）の『坤輿図識（こんよずしき）』（1845年）にみえる「毘爾満」を嚆矢とするようである。－平田由美氏の教示による）

ミャゼディ碑文
（バガン博物館蔵のA碑文）

「タミン サー ピービーラー」
ထမင်းစားပြီးပြီလား（食事をすませましたか）

学生の声　3年　安東　寛仁

幼い頃から外国語への興味があり，将来は「国際的な活動をしたい」と海外へ漠然とした憧れを抱いていました。ここ大阪大学外国語学部で，私のその憧れは着々と現実のものとなりつつあります。私の所属しているビルマ語専攻では，毎年夏季休暇を使って，２年生以上の学生を対象とした一ヶ月間のミャンマー短期留学プログラムに参加することができます。今までに学習したビルマ語の知識を最大限活かそうと意気込んでスタートしたのですが，自分の思いをそのまま伝えることのできないもどかしさ，どう言えばよいのか分からない悔しさを絶えず味わいながら過ごしていました。しかし，そのもどかしさや悔しさと同じくらい，ヤンゴン大学の先生方や学生寮に住んでいる学生などたくさんの方々の優しさをそのたび感じることができました。たった一ヶ月という短い期間ではありましたが，たくさんのことに気づかせてくれた一ヶ月でした。そして同時に，ミャンマーの抱える社会的な問題，交通の便などインフラの整備に関する問題など様々な問題に直面する中で，このミャンマーという国に何か貢献できることはないか考えるようになりました。ビルマ語専攻では，様々なインタープログラムの斡旋があります。私もそれらのプログラムを利用して，自分の「やりたい」を実現できるよう残りの学生生活を実りあるものにしていこうと考えています。

留学体験記　4年　今田　真士

ミンガラーバー！私は１０カ月間ミャンマーのヤンゴン外国語大学に留学していました。大学の授業はビルマ語のみで行われるため最初はさっぱりでしたが、大変だったからこそ留学が終わる頃にはかなり上達しました。授業以外では、学校行事がたくさんあり、毎回ものすごい盛り上がりを見せます。そういった行事でミャンマー人の友達もいっぱいできますし、学校生活はかなり充実していました。学校が長期の休みに入ると、ミャンマー国内を旅行しました。ミャンマーは広い国なので旅行で色んな所に行けますし（しかも安い）、行く先々で異なる文化・言語・民族に触れられるので面白いですよ！

留学だけでなく、長期インターンや、ボランティア、学生団体での活動など留学以外のこともできます。実際に留学以外で来ている学生にたくさん出会い、彼らから多大なる刺激をもらいました。ミャンマーは今とても注目されている国なので、そういうチャレンジャーな若者もいっぱい来ているんです。

これからどんどん変化していくミャンマーに実際に住んで、その変化を肌で感じるのは絶対面白いです！確かに生活面では大変なこともハプニングも多いですがそれも楽しめますし、ミャンマーの人々はとても人がよく（おせっかいなくらい）、嫌いにはなれません。訪れた人はみんな好きになる不思議な国ミャンマー。みなさんも是非！

ヒンディー語専攻

ヒンディー語習得への強い意欲を持ち、ヒンディー語を通じてヒンディー語圏の言語、文学、文化、社会、歴史などを深く研究したい人を歓迎します。

インドのアーグラー市にあるタージ・マハル

インドの人口はついに12億人を突破し、2045年には中国を抜いて世界一になると言われています。これほどのすごいエネルギーをもったこの国について皆さんはどれだけのことを知っているでしょうか。仏陀、ガンディー、カースト制度、ヨーガ、カレー、貧困、核保有国というイメージが定着しているのではないでしょうか。それらは、もちろん一面の事実ですが、現実のインドは、立派に民主主義が働いており、めざましい高度成長を遂げつつあり、とくにIT産業の発展はめざましいものがあります。アジアの市場を見るとき、「中国の次はインドだ」といわれるのも無理はありません。伝統的にインドと日本は、仏教という精神文化を通じて交流がありましたが、これからは文化・社会・政治・経済のあらゆる分野での交流が重要となるでしょう。

私達ヒンディー語専攻では、トータルなインド文化理解の前提として、もっとも重要な公用語であるヒンディー語の習得を非常に重視しています。最初の1年間は、徹底的に語学の訓練にあてられます。これを武器として、他大学には真似のできないインド研究を目指しているのです。ヒンディー語をマスターすれば、インドの知識の無尽の宝庫が諸君の前に開かれます。ヒンディー語は語順も日本語とよく似ており、文法も簡単で整然としています。発音は少し難しいものもありますが、一語一語はっきり発音してくれるので非常に聞き取りやすい言葉です。世界で一番多く映画が制作されるのはインドで、その中でもヒンディー語映画は人気があり、世界中に輸出されています。日本でも近頃、インド映画を見る機会が増えてきました。字幕なしでこの言葉が理解できればどんなに楽しいことでしょう。皆さんの憧れるカッコいいスターに会ってヒンディー語で話すというチャンスに恵まれるかもしれません。

厳しい授業でもヒンディー語学習の楽しさは十分満喫してもらえると信じています。優秀な諸君、好奇心旺盛な諸君、ヒンディー語専攻に来たれ！

インドの20ルピー紙幣の裏上と左下の文字がヒンディー語。右下が英語。左のボックス内にその他の15の言語で20ルピーと書かれている。

「ナマスカール」

नमस्कार

学生の声　3年　鈴木　泰葉

「なんでヒンディー語を勉強してるの？」私が自己紹介をすると必ず聞かれる質問です。私とインドとの出会いは、高校１年生の冬でした。デリー空港から出てまず出くわしたのは、現地の人たちの強烈な眼差し。走り回る野良犬、鳴りっぱなしのクラクション。そして、分からない言葉。「日本に帰りたい！」そんな気持ちをガラリと変えてくれたのは、インドの人たちの温かい気持ちでした。「ナマスカール」と挨拶すれば嬉しそうに手を合わせてくれる。道路で、私たちのために車を制してくれる物売りのお兄さん。「チャイニーズ？」と尋ねられ、ジャパニーズと答えると「ジャパーン！コンニチハ、アリガトー！」と大喜びしてくれるタージ・マハルへの参拝客。こんなにも明るくて馴染みやすい国だったのか、と私はインドに惹き込まれました。再び訪印した翌年、インドと日本をつなぐ仕事がしたいと思ったのがヒンディー語の世界への入り口でした。

入学当初は記号でしかなかったインドの文字が、命を吹き込まれ、語りかけてくれる喜びは、言語を学ぶ者にしか味わえない特別なものです。大学２年生の夏に久しぶりに訪れたインドは、活気に溢れて意味も理解できるヒンディー語が飛び交う、また別の魅力にあふれた新しい国のように思えました。ヒンディー語を学べば学ぶほど、異なる面から覗けば覗くほど、様々な表情を見せてくれる大国インド。ヒンディー語の世界をともに旅する仲間を心よりお待ちしております！

留学体験記　4年　中島　玄

インドの首都にあるデリー大学での留学を終えようとしている今、まだインドという国が大好きとは言えない、でもインドに留学できて本当に良かった、これが正直な私の感想です。

インドとはどんな国なのか。留学前にはあまり想像できていませんでした。ヒンドゥー教、カレー、旅行客が騙されやすい国？これくらいの印象でした。ただ日本との文化の違いを肌で感じ学びたいと思い留学を決めました。街ではヒンドゥー教徒だけでなく、イスラム教徒、シク教徒などをよく見かけます。また、若者は日本と同様に宗教をあまり気にしない人も多くいます。インド国内旅行を繰り返すうちに見えてくる食文化、言葉、服装、人々等の多様性。日本にいた時の印象が塗り替えられる日々の中で、人々の考え方が表れた言葉に出会いました。「外国人は神」。この言葉の通りインドでは、外国人、お年寄り、障害のある人、女性などの弱者に対して生活面ではとても親切にしてくれます。

インドでの留学生活は、食文化の違いや大気汚染などによるストレスを感じることも多くあり、決して楽なものではなかったと思います。しかしインドには、一言で説明できないほど、深く、多くの文化や習慣があります。それらをヒンディー語を通して好きなだけ学ぶことができる、そしてインドを感じることで人としていくらでも成長できる。今の自分の想像を超えた何かを必ず手に入れることができる。私はこれがインド、ヒンディー語専攻の１番の魅力だと思います。

ウルドゥー語専攻

文学、思想の表現手段として、また、多言語社会をつなぐ共通語の一つとして南アジアで重要な役割を果たしてきたウルドゥー語をしっかりと学習したい人、ウルドゥー語を通じてウルドゥー語圏の文学、文化、社会などを深く研究したい人を歓迎します。

パキスタンの新郎新婦

ウルドゥー（Urdū）語は、パキスタンの国語です。インドでも主要言語の一つに数えられています。文字はアラビア文字を用いますが、インド・ヨーロッパ語族に属します。

ウルドゥー語は、インド亜大陸を支配したイスラーム教徒たちの用いていたペルシア語の大きな影響を受けて形成された言語ですので、アラビア語やペルシア語の単語が非常に多く含まれています（ペルシア語はアラビア語の影響を受けましたので、ペルシア語には数多くのアラビア語の単語が含まれています）。ですから、ウルドゥー語を習得すると、日本人が中国語の文章の内容を推測できるように、アラビア語やペルシア語の文章の内容をある程度推測できるようになります。また、ウルドゥー語を勉強すると、ヒンディー語やパンジャーブ語など、他の南アジアの言語に関する知識も身につけることができます。

入学すると、1年次から集中的に文法を学びます。会話と発音はパキスタン人の先生が担当します。2年次には中学・高校レベルの教科書を読み、3・4年次には関心に応じて、文学、文化、社会、経済などに関する専門的な授業を選択します。

南アジア研究には英語の文献が不可欠ですが、南アジアの人々の、英語の資料には現れてこない声を聞くことの大切さを学んで欲しいと思います。

パキスタンの小学4年生用のウルドゥー語教科書

「アッサラーム・アライクム」

السلام علیکم

学生の声　2年　森永　紘加

皆さん、ウルドゥー語や南アジアについてどのようなイメージをお持ちでしょうか？

残念ながら、日本で報道される南アジアに関するニュースはテロや犯罪に関するものが多いように思われます。しかし、メディアが伝えているのは南アジア世界のほんの一部分でしかありません。

ウルドゥー語を理解できる人は世界で約10億人いると言われています。ウルドゥー語を学ぶということは、南アジア世界を理解するということです。現地の言葉で南アジアについて学ぶということは特別なことです。自分の地元の方言を使う人がいるとその人に親近感が湧くように、現地の人にウルドゥー語で話しかけると大変喜んでくれます。ウルドゥー語を使うことで、一気に心の距離を縮めることができるのです。南アジアの人々は、兄弟のように、時には家族のように接してくれる心の温かい人々です。

ウルドゥー語専攻では、先生・先輩・後輩との仲が非常に良く、先生を交えてカレーのお店で食事会をしたり、パキスタン人の先生と六甲を観光したりしています。1学年20人くらいなので、授業もアットホームな雰囲気で進みます。パキスタン人の先生の授業では、実際にウルドゥー語を使いながら受け答えをするのでとても楽しいです。ウルドゥー語を学ぶ日本人はとても少ないです。だからこそ、ウルドゥー語を学ぶことで他人とは一味も二味も違った魅力的な世界を知ることができるのです。

留学体験記　4年　伊藤　千聖

私は2019年の1月から3月までの期間、パキスタンのパンジャーブ大学でウルドゥー語を勉強していました。

授業内容はパキスタンの歴史から文学まで多岐に渡り、また、ウルドゥー語の基本的な言語運用能力を高める授業もありました。

大学でのセミナーや学科での遠足などもあり、毎日刺激的な大学生活を過ごせました。

パンジャーブ大学には多くの外国人留学生がいましたが、日本からウルドゥー語を学びにきていたのは私だけで、先生方もとても親身になって教えてくださいました。

パキスタンにいる際は大学の寮で過ごしていた為、寮生とウルドゥー語で日本について話したり、パキスタンについて意見を交換していました。

そうすることで自身の持つ疑問を解消し、知識をより高めることができました。

大学が休みの日には寮生や大学でできた友人と出かけることが多かったです。

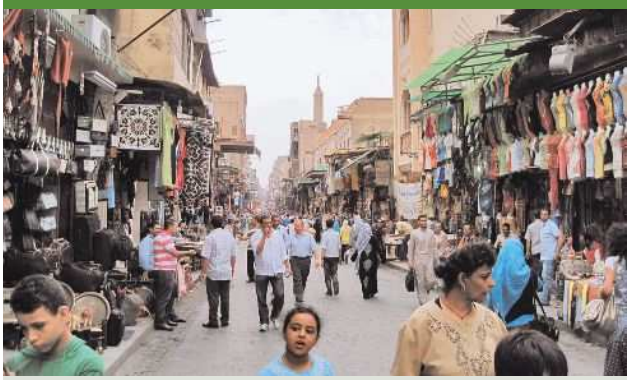
また、結婚式に招待されることも多く、現地の結婚式に2度参加しました。日本とは大きく異なる文化的な行事に参加し、様々な人と交流を深めたことはとても良い思い出です。

外国人向けのコースを修了した際には学科長から直々に修了書をいただき、3ヶ月間の頑張りを褒めていただきました。

パキスタンでウルドゥー語を使い、現地の人々と交流した経験は、私の人生を豊かなものにしてくれました。外国の文化や社会を理解する為には、現地の言葉を用いて現地の人々と交流することがとても大切なことだと実感しました。

アラビア語専攻

アラビア語習得への強い意欲を持つと同時に、日本も含めた世界の言語・歴史・社会・文化に限りない関心を寄せ、それらの学究を通じて多様化する現代社会に対する洞察を深めたいと考える人を求めます。



カイロ下町風景

アラビア語は、3億人以上の話者を擁すると考えられる世界屈指の大言語であり、その重要性はグローバル化する現代世界においても増大しています。現在アラビア語が話されている地域は、ヨーロッパ・アフリカ・アジアの中間、つまり旧世界の中心に位置し、そこに20を超える国家が存在しています。古代から文明が栄えてきた地域、また石油や天然ガスなどの資源にめぐまれた地域が数多くあり、文化史的にも政治的にも大きな重要性を有しています。さらに言えば、アラビア語は20億人近くが信仰するイスラームの儀礼言語であるため、宗教的重要性という点でも無視することができません。

他方、中世に目を向ければ、大航海時代前夜の地球上で最も広く通じた言語はアラビア語であり、アラブ人大旅行家やイスラーム学者たちは、世界中でこの言語を使って叡智を集積していました。いみじくも、スペイン語、ペルシャ語、スワヒリ語、インドネシア語をはじめとする世界の諸言語に見られる膨大な量のアラビア語由来の単語が、この歴史を物語っています。

本専攻では、1-2年次に文語アラビア語をじっくりと学んだ上で、3-4年次には語学力を駆使しつつ自らのテーマを見つけ出し、最終的には卒業論文という形でまとめてゆきます。本専攻の教員は、古典期から現代までのアラブ文学や、地域ごとに大きく異なる口語アラビア語などを専門としつつ、広くアラブ地域の文化や近隣の諸言語について講じています。

アラビア語は生易しい言語ではありませんが、同時に難解なエニグマでもありません。あなたはこの広いアラビア語の世界と出会い、何を見つけ出すでしょうか。

カイロ大学正門

カイロ大学中庭

「アハラン・ワ・サハラン」

أَهْلًا وَسَهْلًا

学生の声

4年　川口　祐樹

アッサラームアライクム！　アラビア語は中東や北アフリカの国々で公用語として用いられているほか、国連の公用語にもなっている言語です。今日はそんなアラビア語を私たちがどのように勉強しているかをご紹介します！

アラビア語専攻に入学すると、最初の授業は28種類のアラビア文字を学習するところからスタートします。その後、1年・2年次で文法をマスターし、3年・4年次になってから諸分野の専門的な知識を学習します。文法をマスターするのに2年もかかることから分かるように、最初のうちは少しだけ難しいかもしれませんが、自分の努力次第で必ず話せるようになります！

また、実際にアラブに留学して勉強する人もいます。私の学年は約半数が9カ月から1年間ほど留学しました。留学先はエジプト・チュニジア・ヨルダン・オマーン・クウェートなどです。パレスチナ・イスラエル・レバノンなどでNGOのボランティアに参加した人もいますし、他の学年にはカタールやUAE、モロッコのほか、イギリスやカナダなど英語圏に留学する人もいます。

国連安保理の議題は7割が中東に関するテーマだと言われるように、アラブは今や世界の関心事項ですが、日本でアラビア語を話せる人材はまだまだ不足している状況です。このページを開いて下さった皆さんが、日本社会に供給される貴重なアラビア語人材になるべく、アラビア語専攻の門を叩かれることを、在学生一同お待ちしています！

留学体験記

4年　宮ノ腰 陽菜

私はサウジアラビアの隣国、アラビア半島の付け根に位置するクウェートに留学しました。

クウェートには外国人労働者が非常に多いため、日常生活は英語が主で、アラビア語を使うのは教室の中と寮母さんやクウェートの人々と話すときくらいでした。そのため方言（アーンミーヤ）はあまり使わず、書き言葉（フスハー）を使用していました。授業の予習復習は大変でしたが、他国からの留学生たちと協力しながら課題をするのはとても楽しく充実していました。また最初はうまく話せなかったのですが、授業で習った単語をすぐに使ってみる、知っている単語で伝えたいことを表現する、わからない単語を調べて語彙を増やすといったことを続けることでアラビア語がだんだん話せるようになり、上達を実感できました。

クウェートでは街でアラビア語を使用することは少ないですが、他のアラブ諸国では日常生活でアラビア語を使う機会に溢れています。これもアラビア語専攻の魅力の一つですが、留学先が複数国あるため、同時期に留学している友達のところへ遊びに行くことができます。私はオマーン、エジプト、ヨルダンにいる友達を訪ねました。国によって方言が違うため戸惑うことも多かったですが、町の人と会話したりお店の人と値段交渉したりするのがとても楽しかったです。

アラブには他の地域にはない、体感してみないとわからない独特の空気があります。皆さんもアラブ世界に飛び込んでみませんか？

ペルシア語専攻

ペルシア語の着実な運用能力を身につけ、言語を基盤にイランおよび西アジアの文化と社会を深く探究しようとする、知的好奇心にあふれた人を求めています。

シェイフ・ロトフォッラーモスク（イスファハーン）

ペルシア語はインド・ヨーロッパ語族に属し、英語やドイツ語などとは親戚関係にある言語のひとつです。その言語資料の歴史はかなり古く、古代ペルシア語は紀元前6世紀以降アケメネス王朝の王たちが碑文で用いたのに始まります。

私たちが勉強するのはイランがイスラム化された7世紀半ば以降、9～10世紀にかけて文章語として確立された近世ペルシア語です。この言語は、イスラムの影響で、文字はアラビア文字を用い、大量のアラビア語の単語が借用語として入ってきています。

ペルシア語はもともとはイラン南西部の一方言でしたが、イラン文化の発達と拡大に伴い、中世にはイランだけでなく、東は北インド、アフガニスタン、西はトルコ、北は中央アジアにわたる広大な地域で公用語、学術語として用いられ、イスラム世界においてアラビア語に次ぐ重要な地位を占めました。その名残が現代のタジキスタンのタジク語やアフガニスタンの公用語の一つであるダリー語です。これらの言語は、名称こそ異なれ、実体はペルシア語です。

また、多くの優れた文学作品がペルシア語で書かれました。ゲーテは散文学の古典『カーブースの書』やハーフェズの抒情詩集を耽読し、その啓発を受けて『西東詩集』が生まれたと言われています。とくに詩文学に優れ、19世紀のフィッツジェラルドの英訳で世界中に名声を博したオマル・ハイヤームの『ルバイヤート（四行詩集）』、フェルドウスィーによる英雄叙事詩『王書』、イラン人がもっとも愛好するサアディーの『薔薇園』など世界文学史上に名を留める名作が数多くあります。

イラン文化は東西文化交渉史においても大きな活躍をしています。シルクロードを経てイラン文化が日本に渡来し、少なからざる影響を与えたことはもはや常識となっています。美術では、建築、庭園、陶器、絨毯にも名品が少なくありません。

こうした豊かな伝統に支えられたイラン文化をペルシア語の学習を通して学んでいきます。

「サラーム」

سلام

学生の声

3年　高林　由万

「ペルシア語ってどんな言語なんだろう？」という思いで入学してはや３年、知らず知らずのうちにイランの魅力に引き込まれ、もっとペルシア語を学びたい！イランが大好きだ！と思えるようになるとは自分自身想像もしていませんでした。授業では文学、民話を読み、図書館ではイランの映画を観て、家に帰ってからその日のイランのニュース・原油価格をチェックし、時にはイラン人の友達とメールのやりとりをする…等々きりがないですが、私にとってペルシア語は生活の一部となっています！

２年生の終わりごろに２週間イランの大学で勉強し、その後２週間旅行するという「イラン研修」に参加しました。街中を歩いていると、「どこから来たの？」と声を掛けられ日本と答えると熱烈な歓迎を受け、まるで有名人かの様に写真の撮影攻めに合い、面白く貴重な体験をしました。今までイランに対して持っていた「危険」「宗教的」なイランではない、生のイランを肌で体感して、こんなに面白い国があるんだと衝撃を受け、その場でイランに留学しようと決めました。

最後に、ペルシア語専攻は１学年20人という少人数であるため、クラスメイトだけでなく、先輩後輩や先生方との距離の近さが魅力です。皆さん、ペルシア語専攻に来て、今しか出来ない体験をしませんか？

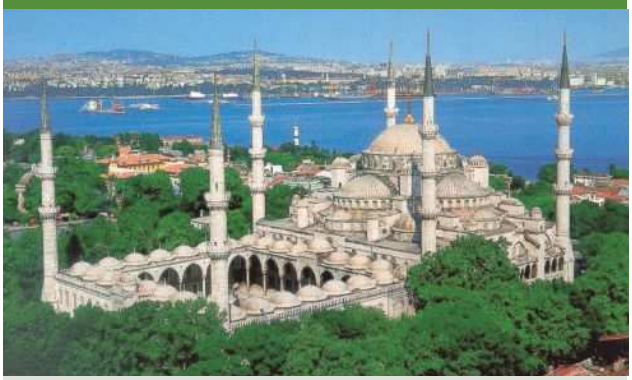
留学体験記

4年　寺岡　美咲

「ペルシア語はどこの国の言語？」、「イランは危なくないの？」日本では、驚きをもって聞かれます。かつて私も同じような疑問を抱いたことがありました。実際のイランには、歴史的建造物や自然、伝統文化、音楽、人々の温かいおもてなしなど、感嘆してしまう要素が多く詰まっています。私は１年間休学し、９か月間イスファハーン大学でペルシア語を学びました。これが私にとって初めてのイランでした。イランを五感で知りたいという想いが募った結果、「留学」にたどり着いたのです。留学当初、銀行で書類の記入の仕方に戸惑っていたところ、いきなり隣の女性が何も言わずに代筆してくれました。お礼を言うだけで精一杯でしたが、彼女の親切な対応に心動かされました。これはほんの一例にすぎませんが、どの場面を切り取っても、「人との関わり」なしでは語れません。目まぐるしく変化する社会や特有の文化に戸惑うことがあったものの、先生や友人、その家族に出会ったことで、イラン尽くしの充実した生活を日々送ることができました。言葉だけでなく、イラン打楽器ダフやピアノをも通じて、彼らと心を通わせ、共に喜び、悲しみ、笑い合ったことは一生の思い出です。イランはどういう国？と興味を持った方に提案します。大学４年間をペルシア語とイランに捧げませんか。ペルシア語を武器にすることで、イランに対する見方が変わり、新たな発見ができますよ。

トルコ語専攻

トルコ語専攻は、トルコ共和国の言語と文化、歴史、社会に強い関心を寄せ、その公用語であるトルコ語の習得に対する熱意を保ちながら、異文化理解への意欲を決して蔑ろにすることなく、トルコひいては東地中海地域やイスラム文化圏、またトルコ系諸語が話されている中央ユーラシアについての探求を志す学生を歓迎します。



世界遺産「スルタンアフメト・モスク」

ボスポラス海峡をはさんで、アジアとヨーロッパの両大陸にまたがる国トルコは、日本の2倍強の国土を有し、そこにはおよそ7500万人の人々が住んでいます。

トルコ共和国の公用語であるトルコ語とはどんな言葉なのでしょうか。トルコ語は、いろいろな意味で英語とは違うところの多い言葉です。そのためか、ヨーロッパなどでは、トルコ語は難しいと言われることがあります。では、私たちにとってはどうでしょうか。もちろん外国語ですから簡単なわけはないのですが、それほど難しくはないと言ってもいいでしょう。発音は取っつきにくい点もありますが、比較的早い時期に慣れることができるでしょう。単語の語形変化も規則的で、何ページもある不規則動詞の活用表の暗記に苦しむ、ということはありません。そして、何と言ってもうれしいのが語順です。トルコ語の基本語順は、主語ー目的語ー述語の順番で、日本語と同じです。前置詞や関係詞などはなく、日本語の助詞のようなもので文法関係を表します。また、文字がローマ字であることも、学習しやすい点のひとつです。

トルコ語は、系統的には、中央アジアで話されているウズベク語やウイグル語やカザフ語、シベリアで話されているヤクート語などと親戚関係にあります。

授業科目を簡単に紹介しておきますと、1・2年生ではトルコ語実習が中心となります。3・4年生では、上級トルコ語、トルコ語文法研究、トルコ文学、トルコ民族史などをはじめとする専門的な授業が組まれています。

社会人となる前に、私たちの専攻で、青春のエネルギーをぶつけて自己形成に挑戦してみませんか。

パジャバー（カッパドキア）

「メルハバ」

Merhaba

学生の声　4年　林　星弥

メルハバ！こんにちは！今日は皆さんに唯一無二の魅力を持つトルコを紹介します。ではどこが唯一無二なのでしょうか？

まずは文化の融合です。トルコほど東西の文化がうまく融合した国はないでしょう。実際に留学中も、街を歩けばあらゆるところで実感しました。近代的な建物の側にあるモスク、市場に違和感なく溶け込む西洋風ファッション、アジアを感じるスパイスが効いた肉料理、南ヨーロッパを思わせる街並みに響くアザーン。こんなにも新たな気づきがあり、今まで目にしたことのない風景に出会えたのも、歴史的に東西の中心となってきたトルコだからこそです。

次に国内旅行のしやすさです。トルコにはイスタンブル以外にも素晴らしい都市が多数存在します。それなら色々な所に行きたいな、でもトルコって広くて大変そうかも。そう思われる方もいるかもしれません。でも、安心してください、安く快適に様々な都市を訪れることができます。1ヶ月で10都市以上旅行した私が保証します。魅力ある都市の多さと長距離バスの快適さのおかげで、いつまでも旅行を続ける事ができます。そしてそれは人との出会いが無限にあることを示します。観光客が多く集まるトルコでは、トルコの人以外との出会いも豊富です。初対面の人たちと夕日を見に行き仲良くなる、なんてこともよくあります。

こうした魅力溢れるトルコに触れる入り口として、トルコ語専攻は皆さんを待っています。皆さんに会えることを楽しみにしています！

留学体験記　4年　久保　綾斗

留学したボアジチ大学は元々アメリカ資本で、授業は基本的に英語で行われます。実はトルコ留学前に4ヶ月間アメリカに短期留学しており、英語には自信がありましたが、専門的な講義を英語で聞き取るのは苦労しました。授業ごとに読むことを課される文献の数も膨大で、授業は読んできたことを前提に進めるので、図書館で夜遅くまで文献と向き合っていました。

お気に入りの休日の過ごし方は、自分の住んでいるヨーロッパ側からアジア側へ出掛けることでした。ヨーロッパ側からアジア側へはフェリーが就航しており、片道料金が2リラ（当時約50円）の安さで、1杯1リラ（当時約25円）のチャイを片手に優雅な航海を楽しんでいました。日没にフェリーに乗ると夕陽に照らされた美しいイスタンブルの街並みが全面に広がり、今でも鮮明に脳裏に焼き付いています。

私が最も印象に残っている経験は、トルコの人々の独特な宗教観に興味を抱き、実際に断食を体験したことです。日の出から日の入りまで飲み食いを一切せず、日の入り後のイフタールという晩御飯を現地の人々と共に食べました。現地の人々と話す中で自分とは全く異なる価値観を持っていましたが、否定することなくそれも1つの考え方だと自分なりに受け止めました。

留学を経て、相手の文化の背景を理解することが円滑なコミュニケーションに繋がることと自信を持って意思表示をすることの重要性を学びました。

スワヒリ語専攻

スワヒリ語専攻では、東アフリカのスワヒリ語のみならず、広くアフリカの言語や文化、そしてアフリカが直面する同時代的な問題について学んでいきます。アフリカの言語に関心がある人はもちろんのこと、アフリカを通して世界のグローバルな問題について考え、取り組んでいきたい人を歓迎します。

キリマンジャロの雄姿

アフリカには2000近くの言語があります。その中でも、スワヒリ語は最も主要な言語の一つです。スワヒリ語は東アフリカの共通語として、タンザニア、ケニア、ウガンダなど10カ国以上で話されており、話者数は7千万人を超えています。タンザニアとケニアの公用語であり、東アフリカ諸国の学校教育やマスメディアで用いられている重要な言語です。

本専攻は日本で唯一、学部からスワヒリ語を専門科目として学ぶことができるところです。そして、スワヒリ語を入り口としてアフリカの言語や文化、社会や政治について広く学んでいきます。

スワヒリ語の他に、ナイジェリアの主要な言語であるヨルバ語やハウサ語、コンゴ民主共和国のリンガラ語やコンゴ語などを学ぶことができます。また、アフリカの社会や政治経済、文化、文学などに関する講義科目があり、現地でフィールドワークをおこなっている多彩な研究者から、アフリカのさまざまな民族や社会の様子を知ることができます。ゼミでは、アフリカの諸問題や言語・文化について、各自が興味をもつテーマを選び、みなで議論する中で考えを深め、卒論へと仕上げていきます。

アフリカは現在55カ国を数え、急速な経済発展を見せる一方、植民地時代の負の遺産を背負ったまま、貧困や政情不安、紛争など多くの問題を抱えています。グローバル時代の現代にあって、遠く離れている日本も、アフリカの現状は決して無関係なものではありません。アフリカを深く理解し、アフリカとの関わり方を考えていくことが、国際社会の一員である私達にも求められています。スワヒリ語を学ぶことから、その第一歩を踏み出してみませんか。

スワヒリ語専攻は仲がいいよ（語劇祭にて）

「ハバリ ガニ？」

Habari gani?

学生の声　3年　野垣　秀天

皆さんは「アフリカ」と聞いて何を思い浮かべますか。私は高校生の頃、テレビや新聞で得られるアフリカに関するニュースが、貧困、紛争、飢餓などマイナスイメージのものばかりであることに疑問を抱きました。そこから、「自分自身で現地の言葉を用いながら、自分の目で今のアフリカを見たい」と思い、スワヒリ語専攻に入学しました。

スワヒリ語の授業はアットホームな雰囲気です。文法や会話の授業を通して、スワヒリ地域の文化に触れることができます。また、スワヒリ語だけでなくアフリカの様々な地域の言語や文化などを学ぶことができ、スワヒリ地域以外にも関心を持つようになりました。

スワヒリ語専攻の仲間と過ごす時間は、とても濃い思い出となります。毎年箕面キャンパスで開催される夏祭りでは、同じ学年の仲間たちとスワヒリ料理の「サンブサ」を販売したり、民族衣装を着てダンスを踊ったりもしました。一つ一つのイベントを経る中で、クラスの仲が深まっていきました。

現在は元々興味のあった国際協力の観点から、所属する団体で３度タンザニアに渡航しました。自らの目で見たタンザニアは、すごく刺激的で、行く度に少しずつ変化も見られ、また何度でも帰りたいと思える場所になりました。

スワヒリ語を通して、様々なアフリカの地域・文化・言語を学べる、スワヒリ語専攻に入学して本当に良かったなと思います。

タンザニアの幼稚園の子供と

留学体験記　4年　上島 知佳子

スワヒリ語専攻の留学先はアフリカだと思われがちですが、それだけではありません。実際私はイギリスのリーズ大学に 10 ヶ月間留学し、そこでアフリカの歴史や芸術について学びました。留学先にイギリスを選んだのは、西洋とアフリカは切っても切り離せない関係にあり、西洋からの視点でアフリカがどのように捉えられ、教えられているのかに興味があったからです。

イギリスの大学では、アフリカに関してさらに深く学び、新たな切り口から考える機会があり、とても刺激的な毎日を過ごしました。また授業外では、「東アフリカサークル」に所属し、東アフリカ出身の学生達と交流したり、タンザニア人の友人を作って、スワヒリ語の練習に付き合ってもらったりもしました。

留学の集大成として、イギリスでの留学を終えた後の１ヶ月間、タンザニアに滞在し、教員ボランティアとして活動しました。現地で生活することで、日本やイギリスで学んだことを肌で感じ、またタンザニア人の人懐っこさにもすっかり虜になりました。タンザニアで出会った子供達に、「大きくなったら今度は私が日本語を勉強して日本に行くからね」と言われたことは一生忘れません。

スワヒリ語専攻を選んだおかげで、このような貴重な経験や出会いをたくさん得ることが出来ました。是非皆さんにもスワヒリ語専攻で遠いアフリカをより近くに感じて欲しいと思います。

タンザニアのホームステイ先でホストマザーとルームメイトと

ロシア語専攻

ロシア語圏の社会、歴史、文化、芸術、そして言語に大いに関心を持って、入学してきてほしい。何よりも、様々なことに好奇心を持ち、自分で考えて、将来専門家として歩む自覚を持っている学生を求めます。

エルミタージュ美術館

日本海を越えれば、そこにはもう広大なロシアの大地が広がっています。歴史的、経済的、政治的にとても深い関係にあるロシアと日本。この二つの国が、これからの世界で互いに脅かすことなく理解し合い、助け合いながら共に発展していくことは、双方の国にとって、そして世界全体にとってとても重要な課題となっています。

また昨今は、最重要な経済パートナーとして日本の産業界はロシアへの関心を高めており、政治、経済、行政等、様々な分野で、ロシア語能力を持つ人材が広く求められており、卒業生の活躍の場はどんどん広がっています。

ロシア語専攻では、外国語学部でもいち早く統一教材を用いた、総合授業システムを採用しています。総合授業システムとは、話す、聞く、書く、読むというロシア語の4技能を総合的に学習し、全体として、学習言語による実際的な活動を可能にする異文化コミュニケーション・行動能力を高めることを目指すシステムです。クラスは少人数制で、学年ごとの「到達度目標」に従って授業は進められます。

また、ロシア語能力検定試験を導入し、客観的な評価基準による単位認定を行っています。

後期課程(3･4年生)では、ロシアの文学･歴史･経済･言語といった専門分野の研究に加え、ビジネスロシア語などの高度なロシア語運用能力を育成する授業も開講されており、将来、ロシア語を使った専門職に就くための準備も積極的におこなっています。

みなさんも私たちと共に勉強して、「ロシア」という未知の扉をたたいてみませんか？

日露首脳会談2013年4月29日、モスクワ(ロイター)

「ズドラーストヴィチェ!」

ЗДРАВСТВУЙТЕ!

学生の声　4年　水野　庄吾

「ココナッツみたいですよね、ロシアって。」- 僕がモスクワに留学していたとき、現地で長く働かれている日本人の方がこうおっしゃいました。その方は色々な国で働いた経験があり、ロシアは４カ国目だそうですが、すっかりロシアにハマってしまい、ロシアで働き続けることに決めたそうです。ロシアという国、言語、文化、文学、芸術、音楽、政治、経済などロシアに関することの多くはココナッツの殻のように堅く、最初はなかなか理解しにくいものかもしれません。しかしなんとかその殻を開けることに成功するとそこには甘くて美味しい実が待っていて、すっかり大好物になってしまう。ロシアとはそんな国で、初めは難しかったものも、その難しさを乗り越えた途端、得られた面白さの虜になってしまいます。とはいえココナッツの殻を素手で割るのは、とても大変なことでしょう。ですがナイフ等の道具があれば、簡単にそして正しく開けることができます。ロシアについて学ぶのも同様に何の助けも借りず、一人で学ぶのはなかなか大変だと思います。しかし大阪大学外国語学部ロシア語専攻には知識豊かで熱心にご指導くださる先生方、様々な分野に興味を持ち学んでいる仲間たち、様々な分野が学べる講義、そしてロシア各地からやってきている留学生など様々な道具があります。あなたにとってのココナッツはなんでしょうか？ロシア語専攻で道具を獲得し、あなた自身のココナッツを是非割ってみてください。

留学体験記　4年　後藤　大輝

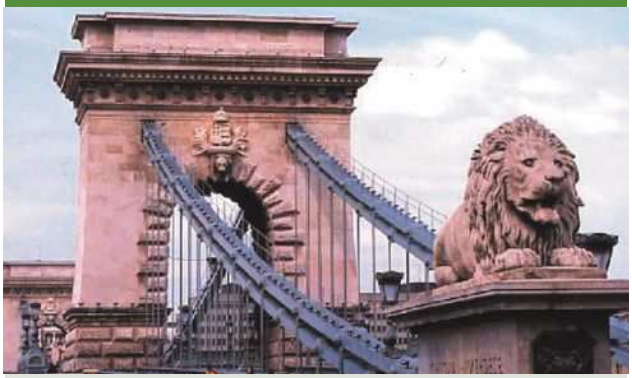
３年の９月より１０か月間、私はロシアのエカテリンブルグに留学しました。エカテリンブルグはロシアのウラル地方に位置する、鉱山資源に恵まれた工業都市です。ロシアの中で、やはりモスクワやサンクトペテルブルクに比べると少し華やかさは欠けますが“最もロシアらしい”都市であるといえます。私が留学したウラル連邦大学では、外国人向けのロシア語の授業のカリキュラムがしっかり整っており、世界のいろいろな国からの留学生が在籍しています。互いに切磋琢磨しあい、ロシア語を勉強できるのも一つの醍醐味であると思います。

留学のメリットとして、語学力の向上のみならずロシアの文化に触れられることが挙げられると思います。冬の寒さは厳しいですが、このウラルは雄大な自然に囲まれ、ロシアを身をもって体感することができます。冬にはアイススケートを街中で楽しむことができるほか、少し郊外へ出れば大自然の中でスキーを楽しむことができます。そのほかにも本格的なロシアの料理体験も楽しむことができたりと、日本ではできない体験ばかりです。

現地の学生や、ほかの留学生たちとコミュニケーションをとることによって、今まで考えもしなかったことや、全く新しい発見に出会えたりしました。これは、新しい言語を学ばなければ得られない体験だと思います。あなたもロシア語を勉強して、“未知なる”ロシアを自ら体験してみませんか？

ハンガリー語専攻

ハンガリー語とハンガリー語が話されている地域の文化・歴史・社会について深く学び、ハンガリーだけでなくヨーロッパ全般への関心と理解をもち、将来大学で学んだことを生かして積極的に社会で活躍したいと願っている人を求めています。



ブダとペシュトを最初に結んだ橋「くさり橋」

ハンガリー語を専攻語として学ぶことができるのは、日本では本学だけです。ハンガリー語は最も新しい専攻語ですが、それでもできてからすでに20年が経ちました。その間に、日本とハンガリーの関係も大きく変わってきました。日本・ハンガリー両国の交流は、1989年にハンガリーが体制転換した少し前から、経済、文化その他さまざまな分野で急速に発展してきました。ハンガリーでの日本語学習熱の高まりもそのあらわれの一つです。ハンガリーは2004年5月にEUに加盟を果たしました。今後、両国の関係はますます発展していくことでしょう。きっと将来、皆さんのなかから、両国関係のさらなる進展に貢献する人が現れることでしょう。

ではハンガリー語とは、そもそもどんな言葉なのでしょうか。不思議な言語だと言われることがあります。そう言われる理由は、ハンガリー語の文法構造や語彙が、他のヨーロッパの言語と比べて、かなり違っているからです。それで、ヨーロッパの人々から見ると、ときに不可解だと思えるようです。でもヨーロッパの外、たとえば日本から見れば、別に不可解なわけではありません。それどころか、日本語と似た点もあるのです。ハンガリー語では日本語の助詞（てにをは）と同じような働きをする要素（接尾辞）が用いられます。なお、ハンガリー語は系統的にはウラル語族に属しますが、ヨーロッパではほかにフィンランド語やエストニア語もウラル語族です。最初の2年間は、ハンガリー語の習得が勉強の中心になります。3、4年生になると、それぞれの興味にしたがって、ハンガリーの言語学、文学、歴史などについて学ぶことができますが、そのときに、1、2年生のときに身につけたハンガリー語を活かすことが大切になってきます。

ヨーロッパの中で、ちょっとほかとは違う特徴をもった言語と文化を、皆さんも勉強してみませんか。きっと今までとはちがう新しい世界が見えてくることでしょう。

「ヨー・ナポト・キーバーノク」

Jó napot kívánok!

学生の声　4年　白川　智志

Jó napot kívánok! 皆さんこんにちは。突然ですが、ボールペンやルービックキューブをハンガリー人が発明したことを知っていましたか？ハンガリーに対し馴染みがなく、国の名前しか知らないと感じる人がほとんどだと思います。私も大阪大学に入学しハンガリー語を学び始めるまでハンガリーについて何も知りませんでしたが、学ぶにつれてハンガリーの魅力に取りつかれました。

ハンガリーの首都ブダペストは豪華絢爛な建築物やドナウ川に架けられた雄大な橋があり、その美しさを称えるため「ドナウの真珠」と呼ばれます。ブダペストの夜景を見ずにいては人生を損していると思いますのでぜひ見てください。

ハンガリー語専攻は１学年に１５人ほどしかおらず、穏やかな雰囲気のため同学年はもちろん先輩後輩問わず、皆すぐに仲良くなれます。優しい先生が多く、わからないことがあっても丁寧に指導してくれます。語学の授業以外にも映画やアニメの字幕作成や日本文化をハンガリー語で紹介する本の製作などの一風変わった授業が用意されている他、奨学金制度を利用し長期短期問わず毎年多くの学生がハンガリーへ留学します。

ハンガリー語を通して文化、歴史、言語など魅力的なことを専門的に学ぶことができるハンガリー語専攻があるのは日本で大阪大学だけです。ハンガリー語専攻では探求心が止むことのない学生生活を送れることを約束します。皆さんとともにハンガリー語を学べることを楽しみにしています。Viszontlátásra ！また会いましょう。

留学体験記　4年　田尾　丹里

「じぶん色の留学を、ハンガリーで」

振り返ってみると、高校生だった私は「珍しい言語だから面白そう。」程度でハンガリー語を選びました。そんな、なんとなく入ったハンガリー語専攻でしたが、ここでの学びを通してかけがえのない経験ができ、今ではハンガリー語専攻でよかったと胸を張れます。

私は首都ブダペストの語学学校に１０ヶ月間留学しました。勉強を始めてその美しさと独自性の虜になったハンガリー語を、現地でしっかりと学びたいと思ったからです。先生の丁寧なご指導のもと、多国籍のクラスメイトと切磋琢磨しながら勉強しました。週末はクラスメイトと遠足に行ったり、長期休みは国内や海外を旅行したりと、勉強以外の生活も充実していました。

私には留学の中で譲れない目標がありました。「自分にしかできない挑戦をすること」です。それは「よさこいチームを作ること」で達成できました。サークルでよさこいをしていたのと、運命的な出会いが相俟って、チームが立ち上がりました。メンバーと練習したり、イベントで演舞を披露したり、時にはパーティーを開いて楽しくおしゃべりをしたり…。彼らとの出会いは、私の留学を一層学び多きものにしてくれました。

私は留学を通じて、大学での学びの面白さを知りました。学んだことを活かして自分にしかできない挑戦ができます。その挑戦が誰かのためになった時の喜びは計り知れません。ハンガリーであなた色の留学をしてみませんか？

「ゴデー」　「ハイ」

Goddag!　Hej!

（くだけた言い方）

学生の声　3年　神﨑　大智

「授業が楽しい！」私がデンマーク語専攻に入学した時から感じていることはこの一言に尽きます。週５コマある専攻語の授業は主に文法、講読、そして会話で構成されていますが、それぞれはただ単なる「講義」ではないのです。もちろんデンマーク語における専門的な知識も学びますが、それと同時にデンマークの文化や習慣、実際に先生方が現地におられた時の経験なども交えながら授業は展開され、実際に行ってデンマークを肌で感じてみたいという思いがどんどん強くなります。学年が上がれば、例えばデンマーク語の文章をどのように訳せば自然な日本語になるのか、ということを先生とともに意見を出し合いながら展開する授業も増えてきて、受け身ではなく自分も授業を作り上げる１人としてみんなで積極性とデンマーク語の運用能力を高め合うことができます。

このような授業で学んだことが生きたものだなと感じたのは、私が２年生の時にサマーコースで１ヶ月間デンマークに滞在した時でした。初めて訪れる地で現地の言葉を使ってコミュニケーションが取れたり、授業で聞いたものや文化を目の当たりにしたりという楽しさは他では味わえない感覚です。今はどこの大学にいても留学に行けるといっても過言ではない時代です。デンマークや北欧の文化や世界観に興味があり、勉強して現地に行ってみたいという方は、ぜひデンマーク語専攻にきてください！素晴らしい経験ができます！

留学体験記　4年　廣野　未妃

私は約１年デンマークのフォルケと呼ばれる成人教育機関に留学しました。ここでは、絵画、陶芸、園芸、ダンスなど、自分の興味のある科目を学ぶことができ、自由でのびのびとした雰囲気が特徴です。全寮制でご飯も一緒に食べるので、自然にみんなと仲良くなれました。

私は２つのフォルケに行きました。互いに授業の形式や学校の雰囲気が異なりましたが、その中でも共通して言えるのは、デンマークの人々は総じて親切で温かい人柄であることです。２つ目の学校では外国人は私だけで、他は全員デンマーク人という環境でしたが、孤独を感じることはありませんでした。寧ろ日本の生活や文化にとても関心を持ってくれて、何か企画を催した際もたくさんの人が来てくれました。何に対しても好奇心を持ち、学んで、それらを自分風にアレンジを加えて活用する彼らの姿勢やそのエネルギーの大きさには、私も何度も驚かされ、見習おうと思いました。

また私が現地で過ごして最も印象的だったのは、デンマークの人達は何気ない日常の中でも、自分達で工夫して楽しみや安らぎを生み出すのが上手いということです。映画一つ見るにしても、ソファやマットレスを出して照明を落とし、映画館のような雰囲気の中みんなで観賞する。お金を払って得る心地よさとはまた違った良さがあります。幸福度の高さが有名なデンマークですが、この姿勢がある意味その要因の一つになっているのかもしれないと感じました。

デンマーク語専攻

デンマーク語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してデンマークの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人。

森の中での自然保育

デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻は最初、1966年4月に大阪外国語大学デンマーク語学科として開設され、1985年4月にはスウェーデン語課程が加えられデンマーク・スウェーデン語学科となりました。そして、2007年10月から大阪大学外国語学部デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻として新たにスタートしました。国立大学では唯一の北欧に関する教育機関です。教育の対象は、デンマーク、スウェーデンを中心とする北欧の言語、文学、社会、歴史です。2年次までは専攻とする一方の言語を集中的に学習します。「読み、書き、話す」に同じ比重が置かれ、外国人教員は最初の段階からデンマーク語もしくはスウェーデン語のみで授業を行ないます。また、初年次には北欧事情の講義が、2年次には両国の文学、社会、歴史に関する概説的な講義もあります。3年次になると、自分の関心に応じて、言語、文学、社会、歴史いずれか1つの特別演習（ゼミ）を選択し4年次の卒論執筆に向けて準備が始まります。授業を担当するのは、それぞれの分野を専門とする両専攻の教員です。ちなみに、3・4年次ではもう一方の言語やノルウェー語、古アイスランド語も学習することができます。

デンマーク語とスウェーデン語は、ノルウェー語、アイスランド語、フェーロー語とともに北ゲルマン語を構成しています（北ゲルマン語は英語、ドイツ語、オランダ語などと系統的に近い関係にありますが、北欧地域圏で話されているフィンランド語やグリーンランド語はまったく別系統の言語です）。北ゲルマン語はフィンランドの一部を含めると北欧では約2千数百万人によって使用されています。このうち、デンマーク語、スウェーデン語、ノルウェー語の3言語の話者の間では、時には多少の困難があるにせよ、それぞれの言語を用いて相互に意思の疎通ができます。したがって、これらの1言語を会得すれば、他の2言語もかなりの程度まで理解できます。文字の特徴としては、英語で使われる26のアルファベットの他に、å（3言語共通）、æ、ø（デ、ノ）、ä、ö（ス）があります。北欧の言語を理解できる人は日本には多くありません。みなさんにはパイオニアの意気込みをもって励んでもらいたいと思います。そして、福祉制度や民主主義が確固と根をおろしている北欧の国々を深く知ることによって、世界を複眼的に展望し、文化はもちろん、国際情勢をもグローバルな視点から把握する能力を身につけてほしいと思↗

スウェーデン語専攻

スウェーデン語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してスウェーデンの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人。

カール・フォン・リネーのハンマルビー別邸（ウップサーラ郊外）にて

います。

北欧を実地体験して理解する手段として留学や現地での夏期語学講座参加も大いに考えられましょう。デンマーク語を専攻する学生の場合は、デンマーク政府の奨学金（9～10ヶ月間）による国費留学生として、毎年日本から5名デンマークに留学できますが、本学からは1～2名が合格しています。また、2・3年生のときにデンマーク政府の短期奨学金（3週間）を得て、デンマーク語の夏期講座に参加する学生も年々増加傾向にあり、2019年には13名の学生が奨学金を得ることができました。さらに私費でフォルケホイスコーレという寄宿制の学校に半年間、あるいは1年間留学する学生や、夏期休暇中にさまざまなコース（デンマークの文化と言語、工芸、ダンス、音楽など）に参加する学生も多数います。

一方、スウェーデン語専攻でも、3年次の8月中旬から翌年6月中旬まで、多くの学生が私費で成人教育機関であるフォルクフーグスコーラに留学し、テキスタイルや音楽、美術、野外活動など自分の興味に応じたコースで、スウェーデン人と共に学んでいます。また、3年次以降に協定先の大学へ留学し専門性の高い授業を受けたり、夏休みを利用してサマーコースに参加し語学力をブラッシュアップする学生もいます。

なお、本学はデンマークのコペンハーゲン大学ならびにスウェーデンのイェーテボリ大学と学生交流の協定を結んでおり、毎年、両大学へ若干名の学生が留学することができます。また、2010年には南デンマーク大学人文学部と、2017年にはストックホルム大学アジア・中東・トルコ学部と部局間協定が結ばれ、留学先の幅がさらに広がりました。

卒業生はメーカー、商社、金融機関、旅行社、マスメディア、北欧資本の大企業、公務員、教育研究機関、北欧各地の日本大使館や駐日の北欧の大使館などで活躍しています。また、卒業後さらに研究を続けたい人は本学の大学院へ進学することも考えられましょう。

みなさんが、今後日本における北欧学の最先端の役割を担うことを期待しています。

「ゴダー」　「ヘイ」

Goddag!　Hej!

（より日常的な挨拶）

学生の声　3年　林　杏里紗

Hej!（こんにちは）

皆さんはスウェーデンと聞いてどんなイメージを持ちますか？ 遠い雪国という印象が強いかもしれませんが、実は、家具のIKEAや自動車のVolvoなど、意外と身近な所にスウェーデンはあります。また、音楽の輸出が盛んな国でもあります。

スウェーデン語専攻では1、2年生の間にスウェーデン語の基礎を身に付けます。2年生では、スウェーデン語だけでなく、北欧の現代社会、歴史、文学についても学び、3年生からは現代社会・歴史・文学・言語の4つのゼミに分かれ、各自の興味分野について研究していきます。また、3年生からは、デンマーク語・ノルウェー語・アイスランド語といった他の北欧諸語も学ぶことができます。

また、3年生の後期からは、大半の人がスウェーデンに約1年間留学します。ストックホルム大学やイェーテボリ大学に交換留学生として派遣される人もいれば、folkhögskola（フォルクフーグスコーラ）に留学する人もいます。Folkhögskolaとは、スウェーデンに156校ある成人教育機関で、多くの人がここに留学し、料理・芸術・音楽などを学びながら語学力に磨きをかけていきます。

スウェーデン語専攻は1学年約20人と少人数ですが、それ故に仲が良く、先輩・後輩との縦の繋がりも深いアットホームな雰囲気です。皆さんの興味分野について研究を深めるための素晴らしい環境がここにはあります。皆さんも私達と一緒にスウェーデンについて学んでみませんか？

それでは、Vi ses!（また会いましょう!）

留学体験記　4年　福井　隆広

「スキーの本場のスウェーデンでクロスカントリースキーがしたい‼」スキー部に所属する僕は、こんな単純な動機で本専攻を選び、さらに、モーラという小さな町のフォルクフーグスコーラのスキーコースへ留学までしました。モーラは「スウェーデンの心」と呼ばれる昔ながらの風景を残すダーラナ地方に位置し、世界最大規模の90kmのスキーレースVasaloppetで有名です。そんなスキーの歴史ある町の学校で、僕は元代表コーチの先生のもとでスキーの専門的なトレーニングをし、スポーツ科学を学びました。また、練習の空きコマには他コースのスウェーデン語の授業も受講しました。

この留学を通じて、スキーでは、Vasaloppetの完走など本場のスキー文化を生で体感でき、語学では、最初は怖かったフィーカ（コーヒーブレイク）での会話を楽しめるようになり、現地の人にスキーの講習会を行えるまでに成長しました。このように約1年という長い時間を好きなことに思いきり使えただけではなく、現地の移民を含めた多様な年齢や背景の人との交流から多くのことを感じ、考え、美しい自然の中で心穏やかに人生を一度立ち止まって振り返ることができたことが、本当に良かったと感じています。

Vasaloppet完走！

留学では様々な困難に出会いますが、それを乗り越えるために努力する姿はどこの国でも必ず評価され、その先には新たな自分と出会えます。そんな努力を温かく見守ってくれるスウェーデンで、語学＋αで何かを学ぶ自分だけの留学をあなたもしてみませんか？

ドイツ語専攻

ドイツ語を意欲的に習得し、それを駆使してドイツ語圏の言語や文学・文化、社会や歴史に関する専門的な知識を身につけ、学んだ成果を生かして社会に貢献したいという情熱を持った人を求めます。

ドイツ語は、ドイツだけでなく、スイス、オーストリア、リヒテンシュタインなどの中部ヨーロッパの国々に住む1億人ほどの人々が母語として用いている言語です。その他にもチェコ、ハンガリー、ポーランド、ロシアなど東欧諸国においては、英語に劣らず重要視されています。数あるヨーロッパ諸言語の中でも、ヨーロッパの文化や学問の形成に深く関わってきた言語であるといえます。また現在、ドイツはEU（ヨーロッパ連合）の有力な一員であり、経済やエコロジーの分野で世界的レベルの重要な役割を果たしています。ドイツ語の学習を通してこのようなすぐれた文化や社会に触れることができます。

ドイツ語専攻では、日本人6名、ドイツ人1名の教員を擁し、その他にも10数名の日本人、ドイツ人、スイス人の講師がさまざまな授業を担当しています。ドイツ語専攻に入学すると、まず前期課程の2年間は文法・作文・購読・会話・LLなどの科目によって、ドイツ語とドイツ語圏の文化に関する基礎知識を学びます。ドイツ語の言語的知識とコミュニケーション能力を鍛錬する科目と並んで、講義や購読において、ドイツ語圏の社会・文化・言語などに関する知識を深め、3、4年生におけるドイツ語圏文化研究のための土台を築くことになります。

3、4年生（後期課程）では言語、文学、文化、思想、歴史などといった多彩な分野の演習科目が用意されており、自分が関心を持つ学問分野をベースキャンプとして選択し、そこで専門的知識を深め、学生生活の総決算である卒業論文を作成します。またこれと並行して関連する研究科目および会話や作文などのドイツ語運用能力を高める科目も必修科目となっています。このように整備されたプログラムと高い専門性を備えたドイツ語専攻を卒業した後は、ドイツ語のスペシャリストあるいはドイツ語圏の国々で活躍できるエキスパートとしての将来が皆さんを待ちうけています。

「グーテン・ターク」

Guten Tag!

学生の声　3年　中本　朱香

皆さんは日本で発見・体験できるドイツ語やドイツの文化について知っていますか？日本人がドイツ語と知らずに日常生活の中で使っている単語として有名なのは「アルバイト」や「バウムクーヘン」です。文化の面から考えてみると、クリスマスの時期に大阪で開催され話題になっているクリスマスマーケットでは本場ドイツの料理や雰囲気を味わうことができます。そこで働くドイツの方たちとドイツ語でコミュニケーションをとることができたり、食文化を体験しながら自分のドイツ語力を試したりすることもできます。意外と身近に感じませんか？

また、異文化を肌で感じる手段として、外国語学部を目指す皆さんの中には留学を視野に入れている方もたくさんいると思います。実際ドイツ語専攻の学生は約半数がドイツ語圏に留学します。他言語に比べて大学間の留学先の選択肢が多いのもドイツ語専攻の特徴です。ドイツだけでなく、公用語にドイツ語を含むスイスやオーストリアにも交換留学先があり、それぞれの目的や興味に合わせて選ぶことができます。

言語、教育、哲学、歴史、政治、音楽等ドイツは魅力にあふれ、学びがいのある国です。皆さんもドイツ語専攻で楽しくドイツ語やドイツ語圏の文化を学んでみませんか？

留学体験記　4年　中山 真由香

ドイツ語を通じて学べることは、いわゆる「ドイツ語」や「ドイツ」だけではありません。歴史から考えるドイツ語圏は、非常に深みがあります。私は「ドイツ」ではないドイツ語圏に関心が湧き、オーストリアのウィーン大学を留学先に選びました。ウィーンと言えば「音楽の都」、「世界で最も住みやすい都市」、「国連都市」等、あらゆる分野から説明がつく場所です。留学先では様々な理由で留学・移動してきた多種多様な国の人々と交流できます。ウィーン独特の言葉に悪戦苦闘するのも現地でしかできない貴重な経験です。

留学は、「日本」を見つめなおす絶好の機会でもあります。言語面なら、自分の思いを伝える時、日本語とドイツ語の言語特性に気付き、自身の思考回路を再考する契機になります。文化面では、私は日本でしていた茶道の活動に留学先でも参加しました。日本文化が海外でどのように大事にされているかに気付かされ、「日本の伝統文化は日本にいる方が深く理解できる」という思いを覆してくれました。

留学に行くか迷いや不安のある人もいるかと思います。私も留学に係る決断や準備すら不安で、留学中に苦悩した日もありました。それでも、行って初めて見えた景色・感情に勝るものはないと言えます。外国語学部と関わる時点で世界との縁ができています。留学への「選択権」を握っているのに縁がないと思っている人ほど、一歩踏み出してほしいと思います。

英語専攻

実社会・世界で活躍できる高度な実践的英語運用能力を涵養するとともに、英米の言語、文学、文化、歴史、政経、国際ビジネスの各分野において専門的知識を身につけ、自らの主張を明確に発信しようとする学生を求めています。

グローバル化が進む現在、英語は、あらゆる領域においてインタラクティヴに最新の情報を交換するコミュニケーションに不可欠な世界言語として、極めて重要な役割を果たしています。

英語専攻は、グローバルに活躍できる高度な実践的英語力と専門知識、そして自らの主張を明確に発信できるコミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目標にしています。この目標に向かって、1、2年次に、徹底した語学実習により高い英語運用能力を養い、3年次進級要件となる基準レベル（TOEIC 730点、英検　準1級等）を上回る英語力を涵養するとともに、言語学的に見た英語の姿、英語圏の文学・文化についても幅広い知識を身につけます。進級後の3、4年次では、ネイティブ教員によるDiscussionの上級クラス、Essay Writing、同時通訳を含む多様な専攻語科目により、さらなる英語運用能力の強化を図ります。

また3年次から専門的研究授業を受講するとともに、文学・文化系、言語系、歴史・政経系の中からゼミを選択。卒業までの2年間、ゼミで、専門書購読、調査・研究、プレゼンテーション、討論により専攻領域への理解を深め、英語による卒業論文の執筆が研究の集大成となります。

外国語学部英語専攻の最大の特徴は、プラクティカルとアカデミックの両面で卓越した英語運用能力があってはじめて成立する国際水準の最先端の学問を追究するという点です。そのためにも、皮相的な英語力ではなく、将来を切り開くうえで大きな糧となる思考能力、教養ある国際人が持つ高度なコミュニケーション能力の習得が期待されます。

前身の大阪外大の徹底した少人数教育によって鍛え上げられた英語専攻の卒業生は、商社、製造、金融、流通、運輸、マスコミ、観光、通訳・翻訳、官公庁、教育など、多方面で活躍しています。大学院に進学し、研究者として活躍している人材も少なくありません。優秀な卒業生を輩出してきた外大の伝統を受け継ぎ、いっそうの飛躍を遂げる英語専攻は、皆さんの入学を心よりお待ちしています。

Good Morning / Afternoon / Evening. Hello / Hi!

学生の声　4年　相澤　詢也

皆さんにとって英語を学ぶメリットは何だと思いますか。「将来グローバルな環境で働ける」「外国人の友達ができる」私はこのようなことを高校生の時に思っていました。しかし４年間の英語専攻生活、そして一年の米国への海外留学を経験した今思うことは「より多くの情報にアクセスできる」ということです。インターネットやSNSで情報収集する際、英語と日本語で検索するのでは雲泥の差があります。例えば筋トレーつとっても、英語で検索をすれば、フォームの解説などといった実践的な情報は勿論のこと、筋トレに関する科学的な論文等にもアクセスできるようになり、従来よりも効率的なやり方が見つかります。英語が使いこなせれば、私たちの生活を豊かにする新たな情報に出会う可能性がぐんと広がるのです。大阪大学の英語専攻はその英語を学ぶ場として最高の場所だと思います。実践的な意味で英語の４技能を向上させることができるのはもちろんのこと、アカデミックの領域にも深く入り込みます。３年次からはゼミに所属することになりますが、文学、言語学、歴史、国際政治、演劇など幅広い切り口から英語という言語について、または英語が使われている国・地域の文化・社会についての理解を深めることができます。そのため英語専攻の授業では、前述のインプット力を向上させるだけでなく、自分で考えて発信するアウトプット力も身につけることができると思います。

留学体験記　4年　石川　亜咲

高校２年生の冬、人生で初めて訪れた海外がイギリスでした。以来、イギリスの大学で学びたいと考えていたため、リーズ大学への留学が決まった瞬間は大変嬉しかったことを覚えています。

リーズ大学では、主に演劇と映画の授業を履修していました。毎週の膨大なリーディング課題に加え、ディスカッションの時間も豊富にあったため、最初は苦戦しました。しかし、授業内容は興味深いものばかりで、要領を得てからは積極的に自分の考えを発信できるようになったように思います。

課外活動では、音楽好きということもあり、現地で安物のギターを買って、フォークソングサークルに所属しました。毎週パブに集まってイギリスの民謡をメンバーとセッションしたり、反対に日本のフォークソングを彼らに教えたり、楽しい時間を過ごしました。特に、オープン・マイクというイベントに参加し、パブで弾き語りを披露したのは良い思い出です。

また、課題の少ない週末を利用して、大学が提供する日帰り旅行にも積極的に参加しました。日本からの旅行ではなかなか行かないような都市に足を運ぶことで、イギリスという国の新たな一面を発見することができました。

留学中、苦労することももちろんありましたが、それらも含めて自分の糧になっていると感じます。せっかく留学に行くのなら、語学力の向上だけでない、自分らしい楽しみ方を見つけられたら、より一層有意義なものになるのではないでしょうか。

フランス語専攻

フランス語専攻では、フランス語やフランス語圏の文化（文学、思想、歴史、政治、経済、芸術など）に関心があり、その正しい知識と理解を深めたいと思っている人を求めています。

ロワール渓谷のシュノンソー城

フランス語は、中世の時代より現在に至るまで、芸術や思想を生み出す支えの言語として、ヨーロッパ文明において重要な役割を担ってきました。フランス文学は中世の「ロランの歌」などに代表される叙事詩や吟遊詩人達による叙情詩から、スタンダール、フローベール、ユーゴー、プルーストなどの近代、現代の小説に至るまで、世界でも他に類を見ない多様で豊かな創造的世界を生み出してきました。哲学者のデカルトやパスカル、ルソー、サルトルといった名前も皆さんにはおなじみのことと思います。フランス語を使って生み出された文学作品や哲学書は膨大な数にのぼります。

またフランス語は、フランス本国以外にも、ベルギー、スイス、カナダといった欧米諸国、あるいはカメルーン、コートジボアール、コンゴなど、かつてフランス領やベルギー領であったアフリカ諸国の一部でも公用語のひとつとして使われており、およそ1億の人たちがフランス語を話していると言われています。そして国連をはじめ、EUやユネスコなどの国際機関においても公用語のひとつとなっています。あまりに英語偏重の今の日本ですが、世界中を飛び交う情報の中で、英語で流される情報はその一部でしかありません。複数の外国語を学んでおくことは、視野を拡げ、他者をよりよく理解し、今のこの世界における様々な事柄に関してより的確な判断を下すためにも、これからの私達にはぜひとも必要な作業なのではないでしょうか。

私達はフランス語とフランス語が培ってきた芸術や文化の魅力とその有用性を伝えるべく、中世の時代から現代に至る文学、歴史、文化、言語学などできる限り多種多様な分野の授業を用意して、皆さん方の期待に応えたいと考えています。

セーヌ河岸のルーブル宮

「ボンジュール」

BONJOUR!

学生の声

3年　河井　和哉

Bonjour!! こんにちは、フランス語専攻の河井です。今日は外国語学部を目指している皆さんに僕から少しフランスの魅力を紹介します。まず、フランスと聞いて何を思い浮かべますか？フランス料理？ファッション？アート？そうですね、いろんなものが出てきますね。その中の何か１つでも興味のあるもの、好きなものがあるだけでフランス語の勉強は何倍も楽しくなります！１、２年生の間は基本的な勉強をして、３、４年生から実践的な勉強に移ります。と言っても先生方は優しく丁寧に教えてくれますし、同じ専攻語の人たちも分からないことがあると一緒に考えてくれます。これが外国語学部の良いところだと思います。また授業ではフランス語の文法や構文だけでなく、フランスの日常や文化、文学、歴史なども教えてくれるので高校では学べなかった、知らなかった知識をたくさん身につけることができます！中でも僕が特に惹かれたのがフランス映画です。もともとフランス語を選んだ理由が映画が好きだったからなのです。もちろん映画大国はアメリカですが、どこか独特の雰囲気を持つフランス映画に興味を持ってフランス語を選びました。大学に入り「フランス」を知るようになってからフランス映画を見るとより理解が深まったと感じるようになりました。言語を学ぶ喜びだけでなく、違った考え方、視点を持つようになることも外国語学部の魅力だと思います。では、皆さんといつかお会いできることを楽しみにしています！

留学体験記

4年　岡田　咲耶

フランスのストラスブールでの留学を経て、私が得たものは、異国の地でも生きていけるという確信でした。

専攻語の教授はよく私たちに国内でも言語能力を伸ばすことは可能だとおっしゃっていました。留学を経験して、その通りだと今は思います。今の私に刻まれているのは、フランス語能力ではなく、当時のフランスの歴史だからです。私は現地で、国策に反対した大学生たちによる大規模デモや、国鉄のストライキなどから、フランス流の“直接民主”を経験しました。日曜日には図書館に並んだり、クリスマスやイースターなどの宗教イベントに参加したりもしました。これらの生の体験から、日本やフランスだけでなく、他国ではどうか、この分野でも同様のことが言えるのか、など、能動的に様々な視点から思考するようになったと感じます。また、私が出会ったフランスの方々は良くも悪くも、私を平等に扱い、拙いフランス語しか話せない私に早口で話しかけました。現地大学での授業も主体的に説明を請わないとついていけませんでした。そのため、約１年間、恥を捨て、疑問を追求し、人生で一番勉学に励みました。このように私がフランスで得た異国での適応能力と主体性は、自身の糧となっています。

外国語学部は主体性を必要とする学部であり、自ら働きかけないと何も得られません。留学も然り。あなたの留学生活でも人生の糧が得られますように。

イタリア語専攻

多様性と伝統を大切にするイタリアの言語、文学、歴史、社会、文化等に強い関心を持ち、イタリア語の高度な運用能力を身につけて、日本とイタリア両国の相互理解に貢献しようという意欲のある人を歓迎します。

イタリア人で知っている名前を挙げてみてと言われたら、みなさん、どう答えるでしょうか。サッカー選手のトッティ、映画俳優／監督のロベルト・ベニーニ、靴のサルヴァトーレ・フェラガモなどの名前が挙がるでしょうか。ちょっと詳しい人なら、ダンテやラファエロ、ガリバルディ、マリア・カラス、あるいはベルルスコーニといった名前も挙がるかもしれませんね。

イタリアは、芸術、文学、音楽、ファッション、サッカー、映画など、様々な分野で個性的な才能を輩出してきた地域です。イタリア語を学ぶということは、このような多様な文化領域にアプローチするうえで非常に有効です。例えば、ミケランジェロの彫刻に興味があるという場合、ミケランジェロが書き残した手紙などを自分で読むことができたら、作品を理解するうえで大きな手がかりとなりますよね。また、劇や映画に関心があるという場合、台本・脚本を自分で読んで、役者の台詞の話し方やそのニュアンスまで理解することができれば、作品を見るうえで大いに役立つでしょう。

ただ、どんな言語にもいえることですが、一つの外国語を修得することは決して容易な話ではありません。イタリア語の場合、発音は非常に分かりやすいのですが、文法には少々厄介なところがあります。例えばイタリア語の名詞には、必ず男女の性別があります、treno（列車）は男性名詞、piazza（広場）は女性名詞といった具合に。面白いでしょ？

1・2年次には、そのような点を含めてイタリア語の基礎をしっかり身に付けることになります。3・4年次には、習得したイタリア語を駆使して、様々な専門分野の授業に参加することになります。大学の授業は決して簡単ではありませんが、幸いなことに、語学の習得は、努力すれば必ずそれだけの報いがあります。みなさんと一緒に学ぶのを、私たちも楽しみにしています。

中部イタリア、世界遺産の街ピエンツァ

「ブォンジョルノ」

Buongiorno

学生の声　3年　浅田　珠里

イタリア語専攻の授業は、会話や文法、読解などといった基本的な授業と、文化や価値観、社会制度や社会問題などといった発展的授業の２種類から幅広く構成されています。イタリアは古くから長い歴史を持ち多様な独特の文化を持っているため、そこから学ぶところは非常に多くあります。もちろん、皆さんが普段口にしているパスタやピザといったイタリア料理も有名ですし、世界遺産の建造物や、芸術における名作や偉人を数多く残しています。

留学についてですが、イタリア語専攻では、２年生時に一ヶ月間、イタリアへの留学プログラムが特別に用意されています。このプログラムは全員参加のものではありませんが、イタリア語を専攻する多くの人がこのプログラムを利用しています。一年半自分が勉強したイタリア語を活用して現地の人と実際にコミュニケーションを試みることはとても嬉しく、自分の経験値を格段に上げてくれるものになります。一年前後の長期留学を考えている学生は、実際にその土地の空気感を確かめて来ることが出来るので、このプログラムは留学先を決める上でも非常に有益なものになると思います。こういったプログラムはすべての専攻語に用意されているものでは無いので、是非この機会を活用してみてください。

イタリアは陽気で明るく、開けたイメージのある非常に気持ちのいい国です。是非皆さんも大阪大学で、ひとつの国にこだわった４年間を過ごしてみませんか？

留学体験記　4年　伊藤　卓

チャオ！イタリア語専攻４年生の伊藤卓です。私は約９カ月間フィレンツェに留学していました。ルネサンス発祥の地、フィレンツェは中世ヨーロッパの面影が色濃く残っており、毎朝ドゥオーモ（大聖堂）を通り、鐘の音を聴きながら通学していました。毎朝行きつけのバールに行き、クロワッサンとカプチーノの朝食を済ませてから登校するのが日課でした。平日は学校や図書館で友人と勉強、週末や祝日はキャンティ（ワインの名産地）でドライブをしたり、友人のマンマの美味しい手料理をご馳走になったりしました。イタリアには独特の時間の流れがあり、あくせくせずにゆっくりとした時間の中で生活していました。そんな雰囲気に加えて尽きることのない魅力で溢れているのがイタリアです。料理・芸術・ファッション・街並み。端的に言うとみなさんの思う「ヨーロッパっぽい」はすべてイタリア発祥といっても過言ではないと私は思います。イタリアに留学する人は留学中、言語の学習と共にそれ以外の魅力にも魅せられ、帰国後も趣味として楽しんでいる人ばかりです。一般に「留学」というと、言語の習得のみにスポットライトが当たりがちですが、イタリア留学の魅力は「イタリア語を学ぶ」より「イタリア語で学ぶ」ことができる環境だと思っています。「言語も習得したいし、留学を通して新しい世界を知りたい」という人はぜひイタリア語専攻に来てください！

スペイン語専攻

スペイン語を意欲的に習得し、学んだスペイン語をとおしてスペイン語言語学はもとよりスペインの文学や歴史、その他スペイン語圏の文化一般に関する知識を積極的に身につけ、スペインおよびスペイン語世界について総合的に理解したいと希望する人。

トレド全景

スペイン語は、スペインのみならず、アメリカ合衆国の一部およびメキシコから南米のチリ、アルゼンチンに至るまでの実に広大な空間（ブラジルを除く）で、3億人以上の人々によって話されている言語です。スペイン語の重要性は、国連の公用語の一つとされていることからも明白です。話される地域が広く、話す人の数も多いという事実は、今日の国際社会において、私たち日本人がスペイン語と接する機会がますます多くなることを意味します。スペインおよびスペイン語世界は、様々な意味で大いなる可能性を秘めた魅力溢れる世界であり、「スペイン語はそれを知る人の未来を開く」と言っても過言ではありません。

もちろん、スペイン語を知っているだけでは十分ではありません。スペインおよびスペイン語世界の文化一般に関する知識を総合的に身につけていることが肝要です。しかし、それは並大抵の努力でできるものではありません。あくまでも努力目標であり、それに近づくために、まずは個々の分野の様々な知識を正確かつ着実に身につけていくことから始めなければなりません。スペイン語専攻の授業も、限られたスタッフと時間のなかで、そのために組まれています。皆さんに課せられた使命は、1、2年次において、スペイン語を正確に「読む、書く、聞く、話す」能力を身につけ、それを駆使しさらに磨きつつ、3、4年次において、スペイン語学やスペイン文学、スペイン史、イスパノアメリカ文学などの専門的な多くの知識を学び、それを土台に各人が自己の価値観をとおして独自のスペイン観もしくはスペイン語世界観を構築することです。

スペインおよびスペイン語世界を総合的に理解するには、少し控えめに言って、その文化一般を知るには、スペイン語の習得が不可欠であり、逆に、文化を知らなければ真の意味でのスペイン語の習得もあり得ないということを肝に銘じて下さい。そして、スペイン語世界のことなら何でも知ってやろうという貪欲な気持ちで、4年間の勉学に励んでもらいたいと思います。皆さんには、可能性と魅力溢れるスペイン語世界が開かれています。

アルハンブラ宮殿ライオンの中庭（グラナダ）

聖家族教会（バルセロナ）

「ブエノス ディアス」
Buenos días
（午前中から昼食までの挨拶）

「ブエナス タルデス」
Buenas tardes
（昼食後から暮時までの挨拶）

学生の声　4年　富樫　留衣

¡Hola! 突然ですが皆さんはスペイン語と聞いて何を思い浮かべますか？太陽と情熱のイメージ、フラメンコ、サッカー、パエリヤやアヒージョなどのスペイン料理など、意外と身近な存在です。しかしスペイン語専攻で学ぶともっと多様な世界に出会うことができます。

スペイン語専攻では、２年生までにスペイン語の基礎とスペイン語圏の歴史や文化、文学などスペイン語に関わる様々な分野を広く学びます。予習と小テストに追われることもありますが、この頃に身につけた基礎が後の研究に大いに役立ちます。３年生からはそれぞれの興味に応じてゼミに所属します。ゼミは５つあるのできっと自分の研究したい分野にぴったりのゼミが見つかるはずです。ちなみに私はスペイン史ゼミに所属しています。

スペイン語専攻の魅力はやはりスペイン語を学んだ先にある多様な世界だと思います。21 の国や地域で３億人以上がスペイン語を公用語として使用しており、それぞれの国や地域に独自の歴史や文化があります。スペイン語専攻ではスペインだけではなくラテンアメリカ諸国についても学ぶ環境が整っています。個人的にはマヤ文明の遺跡や文化についての授業が面白かったです。このように自分の専門とする分野以外も広く関心をもち、学ぶことができます。

皆さんもスペイン語専攻に入り多様な世界に触れてみませんか？情熱的な先生方の指導で確かなスペイン語力を身につけた先にはたくさんの可能性が待っています！

留学体験記　4年　北村 浩太郎

私は４年生の１年間、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラ大学に留学し、スペイン語を勉強するだけでなく、現地の公用語でもあるガリシア語も学習しました。

前期は、大学付属の外国人向け語学コースでスペイン語のレベルを上げながら、ガリシア語の個人レッスンを通してガリシア語の運用能力を向上させ、後期は現地学生に交じって言語学部の授業を受講しました。ガリシア州や言語に関する一般的な知識を得るための授業に加え、一般言語学とスペイン語言語学の授業を受けたものの、ネイティブの生徒向けの内容は難しく、最初は言っていることが理解できず、勉強の仕方すらわかりませんでした。

しかし、大学には日本語を学ぶコースがあり、その受講生と仲良くなったり、語学コースの先生に質問することで徐々にスペイン語の理解度が上がり、同じ授業を受ける友人と討論をすることで、スペイン語とはどんな言語であるかがわかってきました。

よく似た言語であるガリシア語に対する理解度も大いに向上し、他国では学びづらい細かいニュアンスや言い回し、どういう文化背景から使われる語彙が決まっていくのかも考えることができました。

スペイン語を学ぶことは、スペインだけを学ぶことではなく、語圏に対する理解を深めることにもつながります。様々な文化や歴史につながる「鍵」としてのスペイン語を留学を通して学ぶことはとても有益なことだと私は思います。

ポルトガル語専攻

ポルトガル語の高度な運用能力を身につけたいという熱意のある人。ポルトガルやブラジルの言語や文化に強い関心をもち、習得したポルトガル語を駆使してその多様性を主体的に探求しようという意欲のある人。

ブラジルのリオデジャネイロ市の景観　中央の岩山が「パン・デ・アスカル」

ポルトガルはユーラシア大陸の最西端に位置し、12世紀にイスラム教徒からの「国土回復運動」の過程で独立国としての第一歩を踏み出しました。その後、ポルトガルが「大航海時代」の先駆者として、アフリカ、アジア、アメリカ大陸へと進出した歴史はよく知られています。その結果、ポルトガル語は現在、ポルトガルだけにとどまらず、南アメリカのブラジル、あるいはアフリカの旧ポルトガル植民地5カ国（アンゴラ、モザンビーク、ギニアビサウ、カーボベルデ、サントメ・プリンシペ）、また21世紀になって独立した東ティモールなどでも使われており、その話者は2億人を超えています。

本学でポルトガル語を専攻する学生は、1・2年次には、外国人教師による会話の授業を含め、ポルトガル語を総合的に学習し基礎力を身につけます。その後、ポルトガル語圏の言語や文学、文化を勉強することになります。ポルトガルやブラジルというと、サッカーや音楽、格闘技などを思い浮かべる人が多いのですが、それらにとどまらず、各地域の歴史や文学、文化に幅広い関心をもってほしいと思います。また、各自が選択したテーマにしたがい自ら研究を深め、卒業論文を執筆するのも3・4年次の重要な活動になります。

多彩な地域で、数多くの人々によって話されるポルトガル語を勉強することは、視野を広げ、世界の多様な文化を理解し、いろいろな国の人々とコミュニケーションを行ううえで、大きな力になります。皆さんもそのようなポルトガル語を身につけて海外へと大きく飛躍してくれることを期待しています。

「大航海時代」の栄華をいまに伝える
リスボンのジェロニモス修道院（16世紀）

「オラー, コモ・エシュタシュ」
Olá, como estás?
〈ポルトガル〉

「オイ, トゥード・ベィン」
Oi, tudo bem?
〈ブラジル〉

学生の声

4年　阪井　音々

Olá. Como estás?　こんにちは！ポルトガル語専攻へようこそ！

皆さんは、ポルトガル語が世界のどこで話されているかご存知でしょうか？国名でもある、ユーラシア大陸最西端に位置するポルトガルはもちろん、サッカーが盛んで日本にも馴染み深いブラジル、さらにはアフリカのモザンビークやアンゴラなど8か国の公用語として話されています。

当専攻では、1年生の時から必修科目として文法や発音など、ポルトガル語を基礎から学び、2年生からはポルトガル語圏の文化や歴史、文学、言語学などを詳しく勉強していきます。3年生になると多くの学生がブラジル、またはポルトガルへの留学準備に入り、入学先の新年度に合わせて出国します。私自身もポルトガルへ留学しました。その手続きや準備にあたり、不安なことがありましたが、優しい先輩方が一緒に取り組んでくれました。横のつながりだけでなく、縦のつながりも厚いところは当専攻の特徴の一つかもしれません。そして4年生では、卒業論文の執筆に向けてポルトガル語の参考文献を読んだりアンケート調査を行ったりと、それぞれのテーマに基づいてポルトガル語圏の理解をより一層深めていきます。

学内イベントとしては、7月に夏祭り、11月には語劇祭があります。ともに1年生が主体で、毎年どちらも大いに盛り上がりを見せています。

陽気な先生と愉快な仲間たちとともに、ポルトガル語を学びませんか？

Vamos estudar conosco!

留学体験記

4年　小川　翔真

私は、2017年2月から12月まで、ブラジルのサンパウロ州カンピーナス大学に留学しました。

ブラジル留学は、自分が想像していた以上の困難があり、しかし、それをはるかに超える楽しみ、達成感、成長がありました。私はブラジル留学の目的として、ポルトガル語の習得とは別に、コーヒーを極めるという目的をもって留学に挑みました。ブラジルは、世界のコーヒー生産国の上位に入る国です。そんなコーヒーの本場で、ほぼ毎日のように、近所のコーヒーショップにボランティアワークをしに行き、コーヒーの世界にのめり込みました。また、実際にコーヒーが生産される農園にも何度も訪れ、泊まり込みで生産者の方から、コーヒーの生産過程を学ぶこともありました。

こんな留学で私が学んだことの1つは、ブラジルの「多様性」です。ブラジルでは、多くの人種が混じり合って暮らしています。お互いがお互いの文化を認め合い、堂々と生活していました。日本人である私が、コーヒーを学びたいと言っても、誰も反対することはなく、応援してくれました。そんな、お互いを認め合う文化が、日本では感じることのできない、心地よさを感じさせてくれました。

このような経験ができたのも、ポルトガル語専攻だったからこそだと思います。皆さんも、ポルトガル語を勉強して、ブラジルに行ってみませんか？もっと広い世界が皆さんを待っています。

日本語専攻

日本語専攻では、外国語を身につけ、外国の事情を知った上で日本語・日本文化を客観的に捉えることに興味のある人、日本語教育に深い関心のある人、外国語を基礎にグローバルな観点から日本を世界に発信する意欲のある人を求めています。

日本語を母語として日常的に使っているみなさんの中には、「外国語学部で日本語を学ぶとはどういうことなのか？」という疑問を抱く人も少なからずいるのではないでしょうか。しかし、ふだん何気なく使っている日本語の中にも、よく考えてみると不思議なナゾがたくさんあります。例えば日本語を学んでいる外国人から、「『バス停に止まる』と『バス停で止まる』の違いは何か」とか、「どうして感謝する時に『すみません』と言うのか」などと聞かれたら、どのように答えればいいでしょうか。

このような問いに答えるには、母語である日本語を外から見つめ直し、他の言語と比べながら考える必要があります。日本語専攻では、日本語学・言語学・日本語教育学・日本文化学の領域にわたって、日本語を外国語のように観察して客観的に見る目を養い、幅広い視野から日本語・日本文化を捉えることのできる人材の育成を目指しています。日本語専攻の学生はそれぞれ、24の言語のうち一つを専攻言語として学ぶことになっています＊。外国語を学んだ上で日本語を深く探求できるのは、外国語学部の日本語専攻だからこそできる最大のメリットです。また、日本語専攻には毎年約10名の留学生が入学して、日本人学生と共に学んでいるので、教室の中でも日常的に多言語・多文化環境が実現されています。さらに、日本語教育に関心のある人には、教育実習の目的を兼ねた海外派遣や交換留学の機会も設けられています。

外国語を身につけて日本を世界に向けて発信したい・日本と世界との交流を通じて社会に貢献したい・外国語の言語能力を活かして日本語教育の現場で活躍したいなど、グローバルな視点に立って日本語と関わりたいと願うみなさんにぜひ来ていただきたいと思います。

＊日本語専攻の学生の専攻言語について：外国人留学生は日本語。日本人学生は外国語学部に専攻のある、日本語以外の24言語の中から1つを選択し、その言語を専攻する学生とともに学ぶ。

こんにちは

学生の声　3年　松下　莉子

外国語学部なのに日本語専攻？
はい。みんなそういう反応をします（笑）
でも実は、“日本語”専攻が一番“世界”を見ることができるんです！

私たちは、24言語の中から専攻語を選んで勉強しています。日本語専攻は、いろんな言語を学んだ日本人と留学生がひとつの教室に集まって勉強する唯一の専攻なんです。友達や先輩後輩と各専攻語を教え合ったり、留学生と文化について語り合ったり、日本語専攻でしかできない環境がここにはあります。個性豊かな仲間の多様な視点から、みんなで日本語・日本文化・日本語教育について話す空間は、学ぶことが多くて本当に楽しくて面白い！ひとつの小さな教室から大きな広い世界を見ることができます。

また、日本語専攻には大学生のあいだに、世界へ飛び立ち活躍している人がたくさんいます。学生として言語を学ぶ留学ではなく、日本語を教える立場として海外で働くことができます。いま世界にはたくさんの日本語学習者がいます。彼らに、日本語を使って日本語を教えながら、世界を飛び回ってみませんか？

私自身も、日本語専攻の仲間と、日本語学習者に会いに海外へ行く機会がありました。彼らのキラキラした目を見て、受験生のときには想像もしなかった感情に出会うことができました。

日本語専攻で私たちと一緒に、刺激的な大学生活を送りませんか？個性豊かな皆さんに会えるのを楽しみにしております!!!

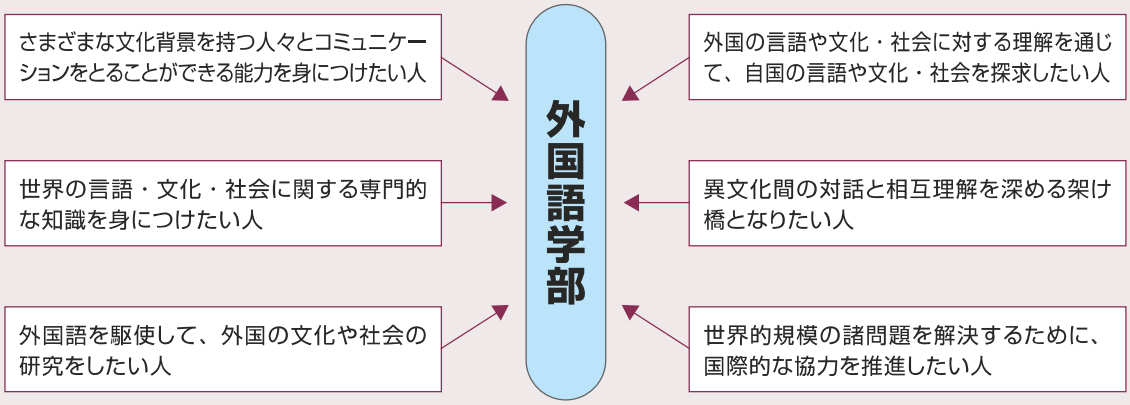
留学体験記　4年　齋藤　涼夏

日本語専攻なのに海外留学？と思われるかもしれませんが、日本語専攻でも留学はめずらしくありません。1、2年生で学んだ外国語をさらに深めるために、海外の大学へ勉強しに行く人もいますが、日本語専攻の大きな特徴は、「海外の学校へ日本語を教えに行く」学生も多いということです。私の場合は、3年生を終えた後1年間休学して、インドの日本語学校で2か月間、続いてタイの大学で6か月間日本語を教えてきました。

私は1、2年生で英語を専攻していたので、インドの言葉もタイの言葉も全く分からないまま海外に飛び込みました。日本では「学生」である私が、インドとタイに行った途端に「先生」として一人で教壇に立ち、ほとんど日本語だけで日本語を教えました。インドでは、活発な学生たちからの鋭い質問の嵐に心が折れそうになり、タイでは、インドと全く違う穏やかな学生たちと日本語の会話が弾まず、落ち込むこともありました。しかし、インドでもタイでも、「先生、先生！」と私を慕ってくれる学生たちの姿に、落ち込んでいる暇はないと思わされました。「この国の、私の目の前にいる学生たちにとってよりよい授業とは…」と自分なりに考えては、やってみるを繰り返した8か月間でした。ただでさえ不安な外国の地で、さらに教える立場に立ったという経験は自分の自信になり、「何かをやるか、やらないか」迷うような場面で、今でも私を支えてくれます。

アドミッション・ポリシー

外国語学部では、特に自国と外国の言語・文化・社会に強い関心を持つ、
次のような学生を受け入れます。



言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ

世界25言語の専攻

外国語学部外国語学科は、25に及ぶ世界の諸言語の専攻語教育課程を設け、世界の言語と言語を基底とする地域文化の教育研究の集積拠点として、幅広く、そして深く世界・文化・地域を学ぶことができます。

入学定員

外国語学部	580名
3年次編入学	10名

授与学位　学士（言語・文化）

学部	学科	専攻
外国語学部	外国語学科	中国語専攻 朝鮮語専攻 モンゴル語専攻 インドネシア語専攻 フィリピン語専攻 タイ語専攻 ベトナム語専攻 ビルマ語専攻 ヒンディー語専攻 ウルドゥー語専攻 アラビア語専攻 ペルシア語専攻 トルコ語専攻 スワヒリ語専攻 ロシア語専攻 ハンガリー語専攻 デンマーク語専攻 スウェーデン語専攻 ドイツ語専攻 英語専攻 フランス語専攻 イタリア語専攻 スペイン語専攻 ポルトガル語専攻 日本語専攻

外国語学部のカリキュラム

◆カリキュラムの体系は、
大きく【教養教育系科目】【国際性涵養教育系科目】【専門教育系科目】に区分されます。

外国語学部では、教養教育系科目として、「学問への扉(マチカネゼミ)」、「基盤教養教育科目」、「高度教養教育科目」、「情報教育科目」、「健康・スポーツ教育科目」を合わせて14単位以上、国際性涵養教育系科目として、「第1外国語」、「兼修語学」等を合わせて10単位以上修得することとなっています。

専門教育系科目には、「専攻語科目」「専攻科目」、「学部共通科目」「卒業論文」等が配置され、102 単位以上を修得することとなっています。専門教育科目の根幹である「専攻語科目」は、1・2 年次で履修する実習の科目と3・4 年次で履修する演習の科目から構成されます。

なお、1年次に配当される授業は、原則として、豊中キャンパスで実施され、2年次以降に配当される授業は、箕面キャンパスで実施されます。

◆カリキュラムのあらまし

※1　学部共通科目には、方法論科目、地域系科目、特設科目があります。
　　方法論科目･･･言語学概論、文化概論、文学概論、芸術史、文化史、国際関係史など
　　地域系科目･･･他専攻の学生も履修が認められている、各専攻の専攻科目(講義)(演習)
　　特 設 科 目･･･キャリアデザイン論、司法通訳翻訳論、現代ジャーナリズム論など
※2　アイヌ語、ヘブライ語、西アフリカ諸語、バントゥ諸語、オランダ語、カタルニア語、ガリシア語、バスク語など
※3　中国語、朝鮮語、アラビア語、スワヒリ語、ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語
※4　卒業に必要な単位には算入されません。

就職状況

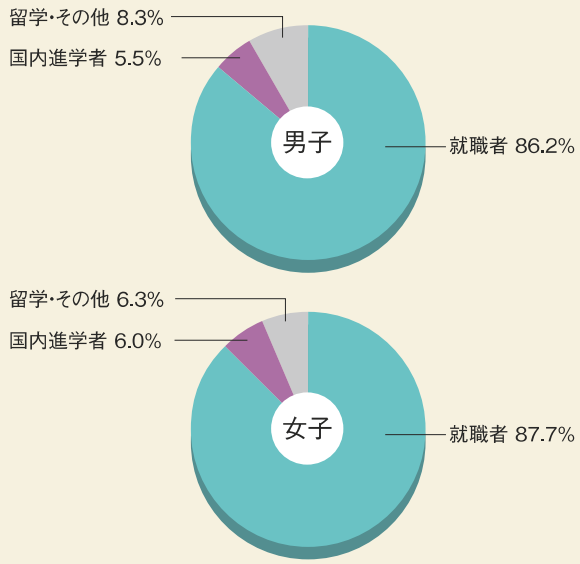
外国語学部を卒業すると

外国語学部の卒業生は、在学時代に培った語学力とそれに基づいた豊富な知識を糧に、社会の様々な分野で活躍しています。大阪外国語大学時代より脈々と受け継がれたOB・OGとの繋がりも卒業生が増すごとに、より強固なものになっています。

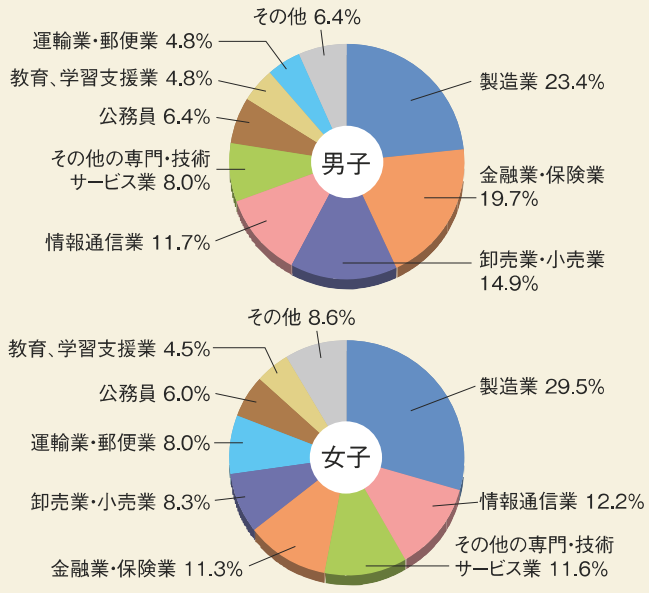
外国語学部卒業生のうち、約87%が就職し、残る約13%が国内の大学院への進学や海外の大学又は大学院へ留学をしています。大阪大学の他の学部と比べても就職希望者の多い学部と言えます。多くの外国語学部生が在学中に経験する短期・長期の留学は、彼／彼女らにとっては社会（世界）へはばたく助走なのかもしれません。

以下のように卒業生の就職先は多業種にわたっています。入学してから自己を見つめなおし、4年間をかけて自分に合った進路を模索していく姿勢を見につけ、理想の就職ができるよう、外国語学部も全力でサポートします。

進路・就職状況（2018 年度卒業生）



業種別　就職者数（2018年度卒業生）



外国語学部卒業生の主な就職先
（2018年度卒業生）

製造業

YKK（株）
アサヒビール（株）
カゴメ（株）
サントリーホールディングス（株）
森永乳業（株）
味の素（株）
（株）レナウン
東レ（株）
コニカミノルタ（株）
（株）JTB パブリッシング
大日本印刷（株）
旭化成（株）
塩野義製薬（株）
（株）カネボウ化粧品
（株）クラレ
（株）資生堂
住友化学（株）
大日本塗料（株）
JFE スチール（株）
（株）クボタ
日産自動車（株）
ダイキン工業（株）
（株）島津製作所
キヤノン（株）
パナソニック（株）
（株）村田製作所
（株）日立製作所
京セラ（株）
任天堂（株）
富士通（株）
シャープ（株）
（株）東芝
スズキ（株）
ダイハツ工業（株）
トヨタ自動車（株）
ヤンマー（株）
（株）デンソー
三菱重工業（株）
DMG 森精機（株）
アシックスジャパン（株）
ヤマハ（株）
住友重機械工業（株）
日立造船（株）

卸売業・小売業

丸紅（株）
三井物産（株）
住友商事（株）
双日（株）
日鉄住金物産（株）
アスクル（株）
イオンリテール（株）
ルイ・ヴィトンジャパン（株）
（株）ニトリ
（株）ユニクロ
（株）高島屋
（株）大丸松坂屋百貨店

情報通信業

KDDI（株）
Sky（株）
SoftBank Group International Japan（株）
アクセンチュア（株）
アマゾンジャパン（株）
楽天（株）
（株）NTT ドコモ
（株）USEN-NEXT HOLDINGS
（株）ケイ・オプティコム
（株）リクルート
（株）時事通信社
（株）読売新聞東京本社
（株）日本経済新聞社
（株）両備システムズ
西日本電信電話（株）
朝日放送テレビ（株）

金融業・保険業

イオンフィナンシャルサービス（株）
（株）みずほフィナンシャルグループ
（株）ゆうちょ銀行
（株）りそな銀行
（株）三井住友銀行
野村證券（株）
あいおいニッセイ同和損害保険（株）
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険（株）
朝日生命保険相互会社
東京海上日動火災保険（株）
日本生命保険相互会社

その他の専門・技術サービス業

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
（株）パソナグループ
（株）電通
（株）博報堂
ホテル日航関西空港
（株）プリンスホテル
（株）阪急阪神ホテルズ
（株）星野リゾート
（株）エイチ・アイ・エス
（株）モスフードサービス
（株）阪急交通社
セコム（株）

官公庁・教員 等

近畿総合通信局
国土交通省
財務省
大阪入国管理局
独立行政法人国際協力機構
各府県庁
各市役所（政令指定都市含む）

等

大阪大学

交換留学制度

大阪大学外国語学部では、諸外国の100を超える大学との間で交換留学を行っています。この制度で留学すると、本学の授業料を納めておいて留学先の大学で学ぶという形になりますので、留学先の大学で授業料などを払う必要はありません。また、留学先の大学で修得した単位は、本学部の卒業に要する単位に算入することができます。（すべてとは限りません）。なお、奨学金（月額5～10万円：平成30年度実績）の支給を受けることができる場合もあります。

学生交流協定大学

●／大学間　★／部局間　（令和元年7月現在）

【ドイツ】
●ミュンヘンルートゥヴィヒ・マクシミリアン大学
●ミュンヘン工科大学
●アーヘン工科大学
●エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学
●アウグスブルグ大学
●ビーレフェルト大学
●ルール・ボーフム大学
●ゲッティンゲン大学
●ベルリン工科大学
●ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン
●カールスルーエ工科大学
★フランクフルト応用科学大学
●★ハイデルベルク大学

【スウェーデン】
●スウェーデン王立工科大学
●イェーテボリ大学
★ストックホルム大学

【スイス】
●スイス連邦工科大学ローザンヌ校
●スイス連邦工科大学チューリッヒ校

【デンマーク】
●コペンハーゲン大学
★南デンマーク大学

【フィンランド】
●オーボアカデミー大学
●ヘルシンキ大学

【ノルウェー】
★ベルゲン大学

【オーストリア】
●ウィーン大学

【ハンガリー】
●エトヴェシュ・ロラーンド大学
★カーロリ・ガーシュパールカルビン派大学
★セゲド大学

【オランダ】
●デルフト工科大学
●グローニンゲン大学

【連合王国】
●リーズ大学
●シェフィールド大学
●ノッティンガム大学
●ダーラム大学
★ロンドン大学

【ウズベキスタン】
★サマルカンド国立大学

【ミャンマー】
●ヤンゴン大学
★マンダレー大学

【フランス】
●グルノーブル大学連合
●ストラスブール大学
●ピエール・マリ・キュリー大学
●ボルドー大学
●エックス・マルセイユ大学
★リール政治学院

【スペイン】
●マドリード自治大学
●バリャドリード大学

【エジプト】
●アレキサンドリア大学
★アスワン大学
★カイロ大学

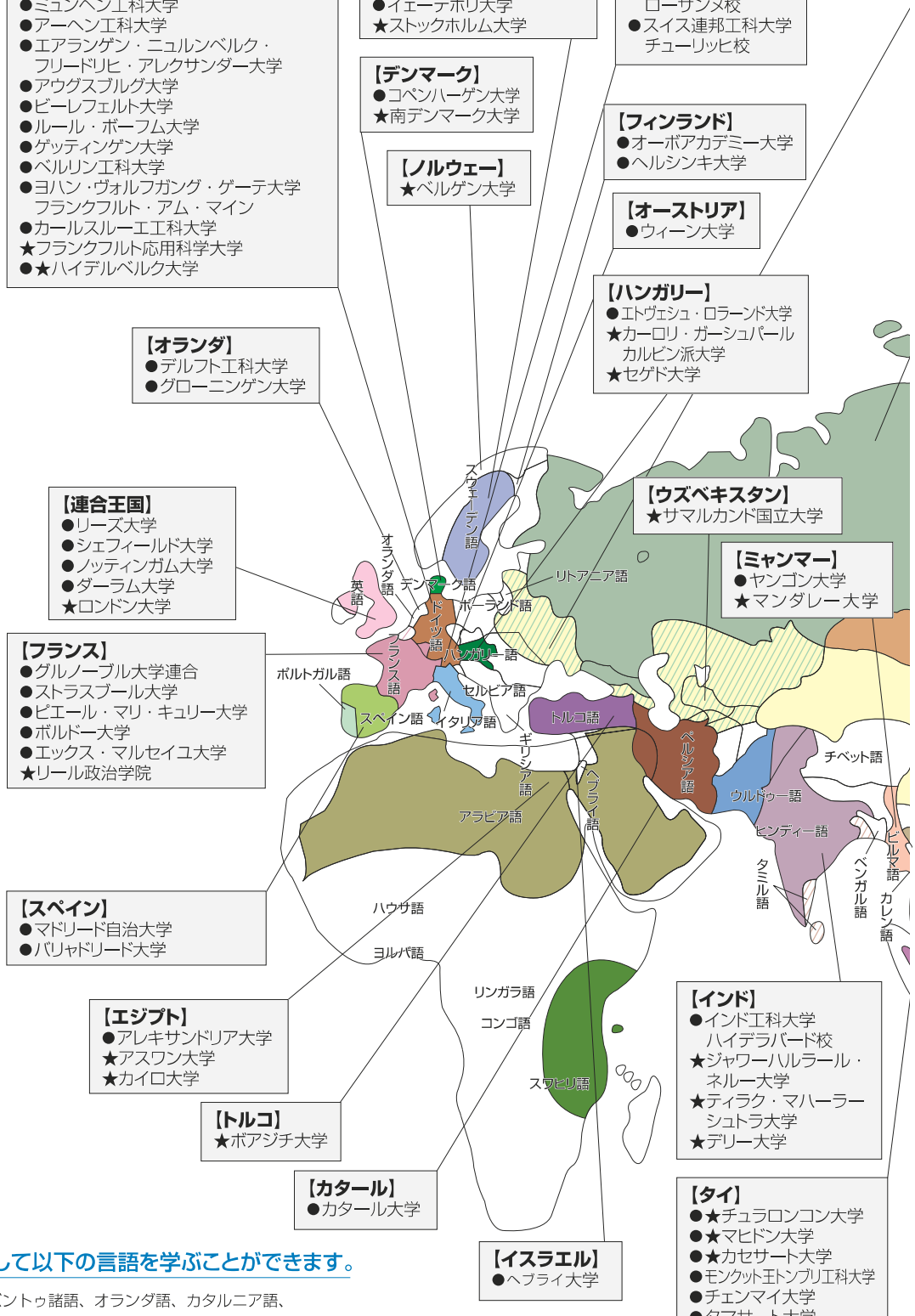
【トルコ】
★ボアジチ大学

【カタール】
●カタール大学

【イスラエル】
●ヘブライ大学

【インド】
●インド工科大学ハイデラバード校
★ジャワーハルラール・ネルー大学
★ティラク・マハーラーシュトラ大学
★デリー大学

【タイ】
●★チュラロンコン大学
●★マヒドン大学
●★カセサート大学
●モンクット王トンブリ工科大学
●チェンマイ大学
●タマサート大学
★コーンケーン大学
★シラパコーン大学
★ランシット大学



大阪大学外国語学部で学ぶことのできる言語

- 日本語
- 中国語
- 朝鮮語
- モンゴル語
- インドネシア語
- フィリピン語
- タイ語
- ベトナム語
- ビルマ語
- ヒンディー語
- ウルドゥー語
- アラビア語
- ペルシア語
- トルコ語
- スワヒリ語
- ロシア語
- ハンガリー語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- ドイツ語
- 英語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語

上記言語のほか、研究外国語として以下の言語を学ぶことができます。

アイヌ語、ヘブライ語、西アフリカ諸語、バントゥ諸語、オランダ語、カタルニア語、ガリシア語、バスク語　など

海外留学について

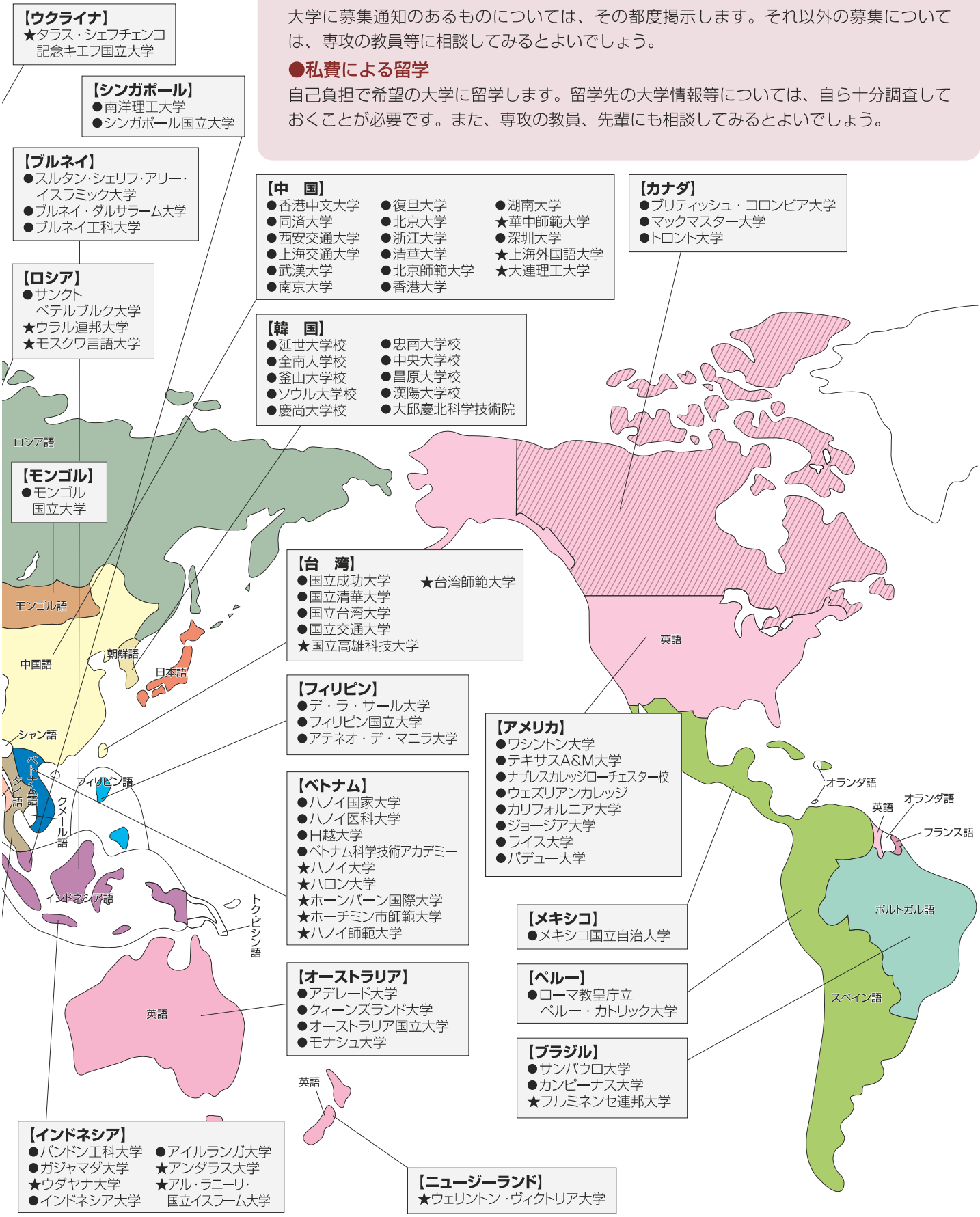
交換留学以外には次の方法などがあります。

●外国政府等の奨学金による留学／その他財団等の奨学金留学

毎年、諸外国・地域の政府または政府機関、及び民間団体が奨学金留学生を募集しています。大学に募集通知のあるものについては、その都度掲示します。それ以外の募集については、専攻の教員等に相談してみるとよいでしょう。

●私費による留学

自己負担で希望の大学に留学します。留学先の大学情報等については、自ら十分調査しておくことが必要です。また、専攻の教員、先輩にも相談してみるとよいでしょう。



卒業生からのメッセージ

スズキ（株）

牧井　渚（2019年卒業 モンゴル語専攻）

みなさんこんにちは。卒業生の1人として私が感じた大阪大学の外国語学部についてお伝えしていきます。大学・学部選びや、これからの大学生活のイメージを膨らますことのお役に少しでもなれば嬉しいです。

まず、みなさんは外国語学部と聞いてどのようなイメージがありますか？言語だけを学ぶところ、留学する人が多そうなど様々なものがあると思います。そして、高校生だった頃の私は、「専攻語を1つ選べば、その言語が話されている国や地域のことしか学べないのではないのだろうか」というイメージがあり、正直に言うと外国語学部をそれほど魅力的に感じていませんでした。もちろん、大学生活の中で専攻語が占めるウェイトは大きいです。しかし、実際には自分の専攻語とは異なる言語圏に留学する人が多くいます。私もその一人で、モンゴル語を専攻としながらオーストラリアへ留学していました。そのような環境だからこそ、興味を持ったことにチャレンジする機会やその挑戦を後押ししてくれる雰囲気が溢れていたと感じています。学生時代に言語についてだけでなく、何事にも挑戦してみる姿勢を身につけることができたのは、今後、社会人として働いていく中でも役立つだろうと思っています。

世界中の様々な国・地域を訪れ、様々な文化に触れ、様々な経験をした学生が集うのが外国語学部です。たくさんの刺激を受けることのできる環境で大学生活を過ごしてみませんか？

日本郵船（株）

石田　侑資（2019年卒業 ドイツ語専攻）

大学生活の中で、最も勉強になったことは何だっただろうかと今思い返してみると、まず浮かんで来るのが学生時代の仲間たちの顔です。ドイツ語専攻の同期はもちろん、文学部の訳が分からないほど賢い先輩、留学先で出会ったグミを主食にしている京大生などなど…個性豊かな面々の思い出はいまだに鮮明です。そんな愉快な仲間たちとの、授業後の食堂での謎談義、ドイツ語文献の講読会、はたまた石橋駅周辺で深夜まで飲んで銭湯に浸かって帰るというお決まりルート。今思い返せば、そんな不真面目でいてどこか真面目な日々のなか、沢山の人と関わることで多くの学びを得ていたのだろうと思います。

こうした経験はおそらく、1年次からみっちりドイツ語を叩き込まれ、ゼミでは少人数で様々なテーマについて議論する。そして、総合大学であるから他学部の学生との交流も盛ん、というこの大学の環境でこそ可能になったのではないかと思います。

また、こうした経験は現在の仕事にも活きています。そもそも船会社に就職を決めたのは「世界中で自社の船が走ってるのすごくない？」という理由が最も大きかったです。これも、在学中のドイツ留学をはじめとした外国語学部での学びを通して得た、まだ見ぬ世界への興味、そして語学力へのほんの少しの自信に後押しされた結果であると思います。みなさんも、大阪大学外国語学部から「地球を舞台に（以前の弊社採用スローガンです笑）」活躍してみませんか？

愛知県

三輪　晶帆（2019年卒業 アラビア語専攻）

外国語学部で外国語を学ぶということはどういうことでしょうか。私はアラビア語を専攻し、分からない単語は辞書を引いて語彙を増やしていく毎日を過ごしていました。外国語学部に入学すればその繰り返しとなるでしょう。しかし、そうした勉強を続けて自分の専攻語に集中して取り組むことで「その言語を通してしか見られない世界」が自分の目の前に現れてきます。私はアラビア語を勉強する中で、20数か国で話されているアラビア語の方言の多さや、言語を通してつながるアラブ世界を感じることができました。日本語の書籍でもそうした知識は得られますが、アラビア語を学んでこそ直に感じられるものがあります。外国語を学ぶということは、その言語を通した世界観や価値観を知るということなのだと思います。他の学部では決して得られない貴重な経験と財産になるはずです。

私は現在、愛知県職員として県税事務所に勤務しています。アラビア語を直接使う機会はありませんが、留学をして自分が外国人の立場となった経験を生かし、日本で暮らす外国籍の方の納税相談や暮らしのサポートを行っています。外国語学部で学んだことが生かされている毎日です。

日々言語をコツコツと勉強することは忍耐を要します。しかしそれを継続することで世界観と価値観を広げることができます。みなさんも、その環境が整っている外国語学部の魅力を味わってみませんか！

大阪大学大学院

中村　瑞樹（2019年卒業 英語専攻）

英文法を深く学ぶために、英語専攻に入学しました。しかし、4年間の大阪大学での学びの中で、英語の勉強とは、文法の勉強だけではないと気付かされました。英語学は奥深く、学びがいのある学問です。しかし、英語専攻では、英語圏の文学、経済、歴史など、英語に絡む様々な分野も学ぶことができる環境が整っています。僕自身も、もともと興味がなかった文学、英語史など、様々な角度から英語を学びました。そして、その結果、言語学と文学を結び付けて研究したいと思い始めました。この考えが、僕を大学院進学に駆りたてました。

外国語学部で学ぶ利点は他にもたくさんあります。先生方は面倒見がよく、僕の疑問を丁寧に解決してくださいました。図書館には、勉学の支えになる多くの資料が揃っていて、自習にぴったりでした。また、日本語教育やオペラ史の授業など、専攻語の枠組みに収まることなく、興味に合わせて、自らの視野を拡げる様々な分野の勉強も出来ました。さらに、大阪大学にはレベルの高い学生が集まってきます。そんな仲間と、様々な議論を交わし、共に高め合い、勉学に努められる環境の居心地の良さは、大きなモチベーションでした。

外国語学部での学びは、大学院での研究の基礎になっています。研究はまだまだこれからですが、外国語学部に入らなければ進まなかったであろう人生を楽しんでいます。多様な知的好奇心を無限に拡げる可能性が、ここにはあると強く信じています。

箕面キャンパス

施設・設備案内

❷ B棟（写真・中央）

１階にある学生談話室は、自習や食事をしたり、各々の時間を気ままに過ごすことができる自由な空間です。２階には、外国語学部箕面事務室（庶務係・研究協力係・経理係・契約係）があります。

❶ A棟（左写真の右および右写真）

学生生活をサポートする機能の中枢。

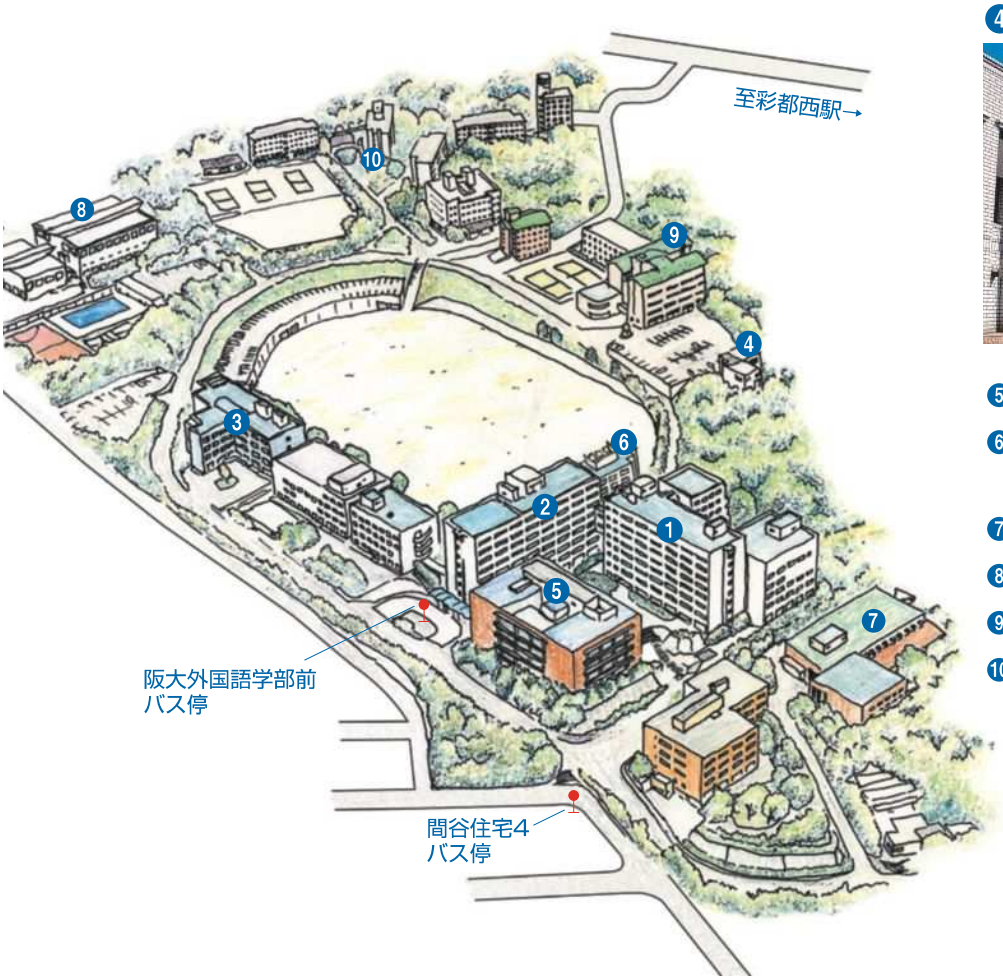
１階には言語文化研究科・外国語学部箕面事務室（学務係・教務係・学生支援係）、箕面学生センター、なんでも相談室があります。在学生に対して多様な情報を提供しています。

学務係・教務係・学生支援係 窓口（A棟）

❸ E棟

開放的な空間デザインになっています。

❹ 大阪外国語大学記念会館



❺ 附属図書館　外国学図書館

❻ サイバーメディアセンター
総合研究棟

❼ 箕面福利会館

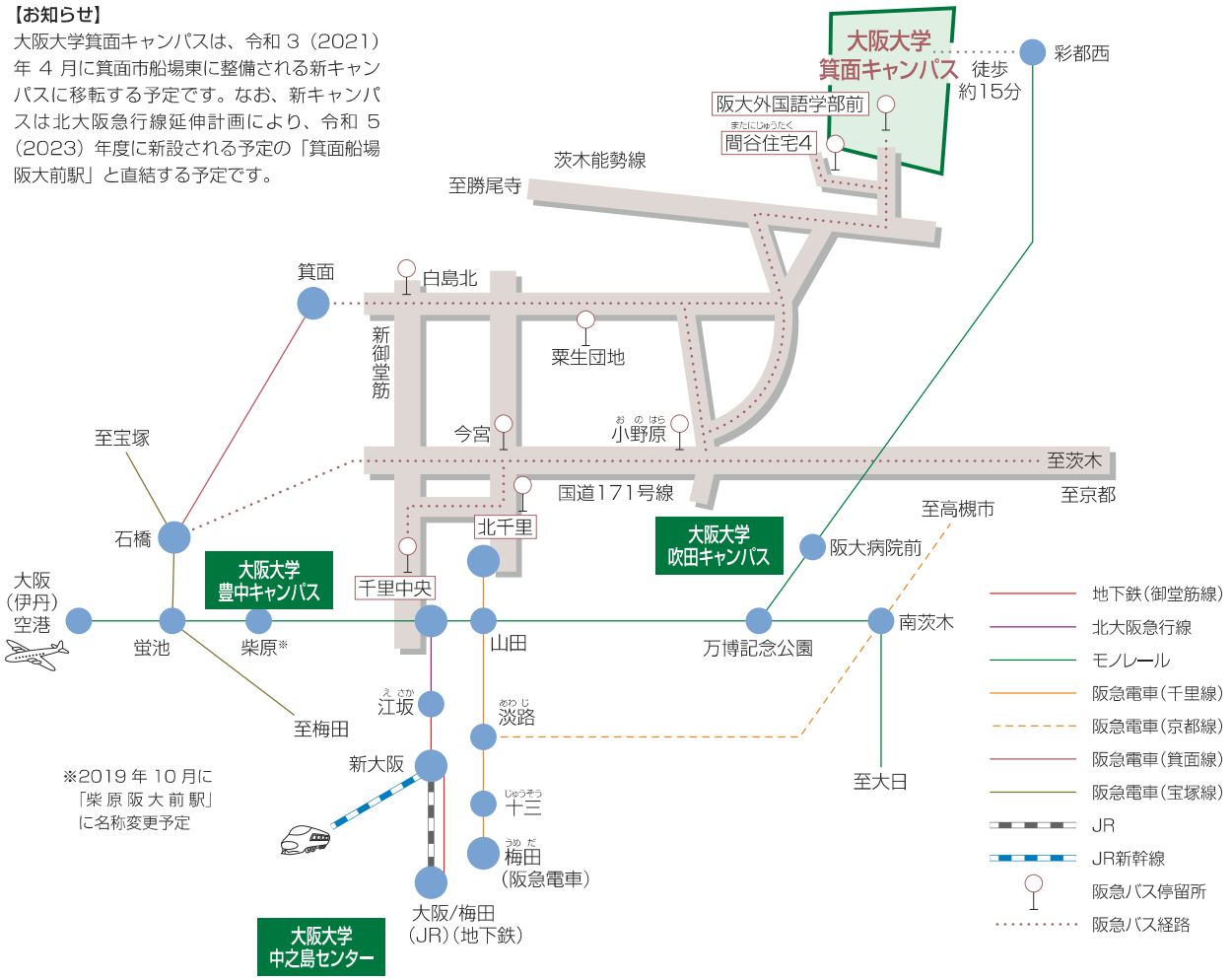
❽ 箕面第１・第２体育館

❾ 日本語日本文化教育センター棟

❿ 学寮　等

箕面キャンパス
所在地経路図

【お知らせ】
大阪大学箕面キャンパスは、令和３（2021）年４月に箕面市船場東に整備される新キャンパスに移転する予定です。なお、新キャンパスは北大阪急行線延伸計画により、令和５（2023）年度に新設される予定の「箕面船場阪大前駅」と直結する予定です。



最寄り駅から箕面キャンパスまでの経路

○北大阪急行線「千里中央駅」
○大阪モノレール「千里中央駅」
千里中央（「千里中央」発のバスは「北千里」を経由します。）
10分

○阪急電鉄(千里線)「北千里駅」
北千里 10分 **小野原** 15分 **阪大外国語学部前**
15分 **間谷住宅4**

○JR(東海道線)「茨木駅」
JR茨木「阪急石橋」行乗車　25分（「小野原」でバス乗換え）

○阪急電鉄(宝塚線)「石橋駅」
阪急石橋「JR茨木」行乗車　25分（「小野原」でバス乗換え）

○阪急電鉄(箕面線)「箕面駅」
箕　面 25分（運行便数は非常に少ないので注意:1時間1便程度） **間谷住宅4**

（※注意）
大阪大学の休業日（土・日・祝・春期／夏期／冬期休業期間）は、「阪大外国語学部前」行きのバス（——線）は運休しますので、「間谷住宅（またにじゅうたく）」行きのバス（- - -線）をご利用ください。

平日は、1限から5限の授業時間に合わせて、阪急茨木市駅からJR茨木駅経由のバスを運行しています。
乗車時間は、およそ30分～40分です。

凡　例
：阪急バス停留所名
：阪急バス「阪大外国語学部前」行き※
：阪急バス「間谷住宅（またにじゅうたく）」行き※
：大阪モノレール
：大阪モノレール駅

●大阪モノレール利用の場合

大阪大学箕面キャンパス ……徒歩約15分…… 彩都西
6分
阪大病院前
5分
万博記念公園

大阪空港 3分 蛍池（阪急宝塚線連絡） 10分 千里中央（北大阪急行線連絡） 2分 山田（阪急千里線連絡） 3分 万博記念公園 6分 南茨木（阪急京都線連絡） 11分 大日（地下鉄谷町線連絡） 2分 門真市（京阪電車連絡）

大阪大学 外国語学部

大阪大学 外国语学院

오사카대학 외국어학부

ОСАКАГИЙН ИХ СУРГУУЛИЙН ГАДААД ХЭЛНИЙ САЛБАР

FAKULTAS KAJIAN ASING UNIVERSITAS OSAKA

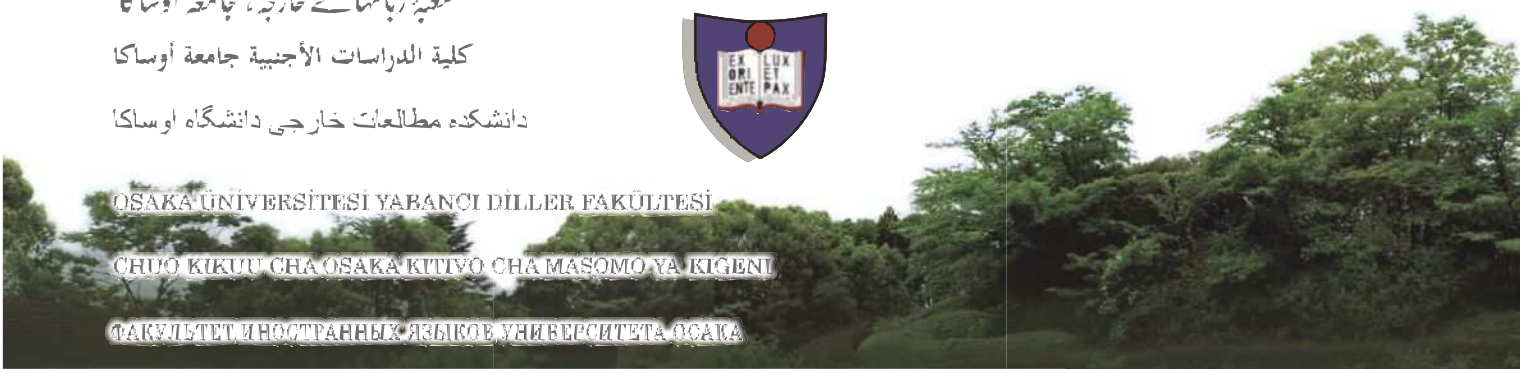
KHOA NGOẠI NGỮ, TRƯỜNG ĐẠI HỌC QUỐC GIA OSAKA

ओसाका विश्वविद्यालय विदेशी भाषा संकाय

شعبۂ زبانہائے خارجہ، جامعہ اوساکا

كلية الدراسات الأجنبية جامعة أوساكا

دانشکده مطالعات خارجی دانشگاه اوساکا



OSAKA ÜNİVERSİTESİ YABANCI DİLLER FAKÜLTESİ

CHUO KIKUU CHA OSAKA KITIVO CHA MASOMO YA KIGENI

ФАКУЛЬТЕТ ИНОСТРАННЫХ ЯЗЫКОВ УНИВЕРСИТЕТА ОСАКА

OSZAKAI EGYETEM IDEGENNYELVI KARA

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITET

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITET

FAKULTÄT FÜR FREMDSPRACHEN AN DER UNIVERSITÄT OSAKA

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITY

FACULTÉ DES LANGUES ÉTRANGÈRES DE L'UNIVERSITÉ D' OSAKA

FACOLTÀ DI LINGUE STRANIERE DELL'UNIVERSITÀ DI OSAKA

FACULTAD DE ESTUDIOS EXTRANJEROS, UNIVERSIDAD DE OSAKA

FACULDADE DE ESTUDOS ESTRANGEIROS, UNIVERSIDADE DE OSAKA

大阪大学 外国語学部　〒562-8558 箕面市粟生間谷東8丁目1番1号　電話（072）730-5069

http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/

令和元年7月作成